

中学校教科用図書及び 特別支援学級教科用図書（一般図書） 調査研究報告書

○国語	1
・ 国語	4
・ 書写	8
○社会	12
・ 社会(地理的分野)	14
・ 社会(歴史的分野)	18
・ 社会(公民的分野)	25
・ 地図	30
○数学	32
○理科	41
○音楽	49
・ 音楽(一般)	51
・ 音楽(器楽合奏)	53
○美術	55
○保健体育	60
○技術・家庭	66
・ 技術・家庭(技術分野)	69
・ 技術・家庭(家庭分野)	72
○外国語	75
○道徳	84
○特別支援	93

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 6 年 7 月 18 日

第9地区教科用図書調査委員会	国 語	小委員会
----------------	-----	------

委員長 湯 浅 啓 介



委員 北 村 雅 俊

委員 高 野 亜希子

委員 平 馬 裕

委員 桜 井 謙 一

委員 加 藤 洋

委員 帰 山 哲 雄

委員 川 上 かおり

委員

委員 野 田 浩 輝

委員

学校種目	中 学 校	種 目	国 語	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員長の選出 委 員 長～湯浅啓介（清里町立清里中学校 / 校長） 副委員長～北村雅俊（北見市立上常呂中学校 / 教頭） ○調査研究等の役割分担 平馬委員（光村・三省堂） 北村委員 （東書・三省堂） 加藤委員（東書・教出） 湯浅委員長（全者） 川上委員（教出・光村） 桜井委員 （全者） 野田委員（光村・東書） 埴山委員 （全者） 高野委員（教出・三省堂） ○調査研究内容の確認 ①「小委員会進行に係る資料集」に基づいて調査研究方法や報告書の記述要領、調査の観点について確認した。 ②「採択参考資料」「調査研究報告書記載例」を参考にし、報告書作成に向けての調査研究の視点を全員で確認した。委員を初めて担当することになった教諭がいるため、留意すべき点を明確にした。 ○今後の調査委員会と進捗に関する確認 ①第2回調査委員会で調査報告書作成に取り組めるよう、各委員が担当する教科書の概要をつかんでおくこととした。また「調査研究報告書記載例」を精読し、作成に向けてその書式等について事前理解を進めておくこととした。 <第2回調査委員会> ○各委員による調査研究報告書の作成及び担当者による協議（第1回目「国語」を中心に） ○作成した調査研究報告書の途中経過の報告。 ①作成上の留意事項の確認 ・取り上げる具体例の学年を確認した。 ・文章表現や形式等、統一事項について確認した。 ②各者の内容の取扱いに関する意見交流 ・教科書の特色について分析、比較を行った。 ○第3回調査委員会に向けての確認 ・調査及び作業内容の確認をした。 <第3回調査委員会> ○各委員による調査研究報告書の作成及び担当者による協議（第2回目「書写」を中心に） ○作成した調査研究報告書の途中経過の報告。 ①作成上の留意事項の確認 ・取り上げる具体例の学年を確認した。 ・文章表現や形式等、統一事項について確認した。 ②各者の内容の取扱いに関する意見交流 ・教科書の特色について分析、比較を行った。 ○各者ごとに作成した「国語」及び「書写」の調査報告書の比較・精査・検討を行った。				

	○調査研究報告書の作成と調査研究の概要 <国語> ・「取扱内容、内容の構成・排列」の記載については、現行の学習指導要領との関係性を再確認し、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的・対話的で深い学び」（＝主体的に学習に取り組む態度）の3観点からの記述とした。さらに「内容の構成・排列」を加えて4項目の表記とした。 ・「使用上の配慮」の記載については、生徒の学習意欲を高めるための工夫について各者の特色を記載した。また今日的な教科書の特色となるデジタルコンテンツの扱いについても記載した。「個別最適な学び」に繋げる工夫がなされていた。 ・各者の優劣がついていない表現になっているかどうかを確認した。 <書写> ・「取扱内容、内容の構成・排列」の記載については、「硬筆」「毛筆」「硬筆と毛筆の関連」がどのような学習活動で取り上げられているかを全学年についてを並列に記載した。 ・「使用上の配慮」の記載については、生徒の学習意欲を高めるための工夫について各者の特色を記載した。また、今日的な教科書の特色となるデジタルコンテンツの扱いについても記載した。 ○調査研究報告書に記載しなかった、各者の教科用図書の特徴等についての交流 ・「資料や数値データを読み解く力」を養うための教材排列に工夫がなされていた。 ・「全国学力学習状況調査」及び「北海道公立高等学校入学選抜」に対応できる力を養う工夫がなされていた。 ・生徒が教材を通じて、どんな学びをしていくことが適切であるか見通しを持てる工夫がなされていた。
少数意見及び参考となる事項	各者とも学習指導要領に示された今日的な学力観を育成するための改訂が練られてきており、オホーツクの生徒の学力向上に資するための教科用図書になっている。

国語科（国語）調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1学年 国語・002-72 新編 新しい国語 1 第2学年 国語・002-82 新編 新しい国語 2 第3学年 国語・002-92 新編 新しい国語 3
取扱内容、内容の構成・排列	〔知識及び技能〕 ○ 知識及び技能の内容については、例えば第3学年において調べたいテーマについてインターネット等で調べることを通して、情報の客観性や信頼性を吟味し社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができるようになっている。 また、古典を読み味わい、引用する活動等を取り上げ、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。 〔思考力・判断力・表現力等〕 ① 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年において材料を集め構成を工夫して説得力のある提案を行う活動やテーマに沿って多様な立場や意見を尊重しながら合意形成を行う活動等を通して、社会生活の中で必要な伝え合う力を高め、思いや考えを広げたり深めたりできるようになっている。 ② 書くことについては、例えば第1学年において根拠を明確にして書く活動、案内文や報告文等状況に応じて必要な事項を適切に書く活動、詩や随筆の形式で思いを文章にする活動等、社会生活や人との関わりの中で適切に表現する力を高め、思いや考えを確かなものにすることができるようになっている。 ③ 読むことについては、例えば第3学年において場面の展開や表現の仕方に着目し作品を批評する活動や文章に表れている考えを捉え吟味する活動等を通して、社会生活における人との関わりを通して、自分自身の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 〔主体的・対話的で深い学び〕 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各学年「てびき」において、学習課題と見通しをもたせて他者の考えにふれる工夫がされている。例えば第3学年においては登場人物や筆者のものの見方や考え方に着目して読み取る等、考えを広げ深める活動等が取り扱われている。 〔内容の構成・排列〕 ○ 内容の構成・排列については、第1学年で日常生活の中から題材を決め、出来事と思いがよく伝わるよう表現を工夫して随筆を書く活動の後に、第2学年で表現の効果を考え、描写を工夫して物語を書く活動を取り上げる等、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 全学年で「言葉の学習を始めよう」を掲載し、国語学習の意義を示す等、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 全学年で「未来への扉」に未来の社会生活に必要な九つの視点を提示したり、「言葉の力」に各教材で身につけたい学びのポイントを掲載したりする等、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「デジタルコンテンツ一覧」を掲載し、二次元コード（QRコンテンツ）から興味関心や課題意識を抱いた内容に関して、家庭学習での予習・復習につなげたり生活の中で生かしたりできるよう、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

国語科（国語）調査研究報告書

書名 観点	15・三省堂 第1学年 国語・015-72 現代の国語 1 第2学年 国語・015-82 現代の国語 2 第3学年 国語・015-92 現代の国語 3
取扱内容、内容の構成・排列	〔知識及び技能〕 ○ 知識及び技能の内容については、例えば第3学年において複数の資料から情報の信頼性の確かめ方を理解する活動により、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けられるようになっている。また、歴史的な背景に注意して古典を読み、作者のものの見方や考え方を捉える活動等を取り上げており、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになっている。 〔思考力・判断力・表現力等〕 ① 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年において社会生活から題材を探しプレゼンテーションを行う活動や互いの考えを尊重しながら話し合う活動を通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 ② 書くことについては、例えば第1学年において調べて集めた情報を整理してレポートを書く活動や日常生活の中から題材を決めて詩・随筆を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにできるようになっている。 ③ 読むことについては、例えば3学年において文章を批判的に検討しながら自分の考えを確かにする活動や作品の特徴を評価する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 〔主体的・対話的で深い学び〕 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、各学年とも「学びの道しるべ」において学習課題を設定し見通しをもたせることができるように工夫されている。例えば第3学年においては人間や社会について思いをめぐらせ自分の考えを広げる活動等が取り扱われている。 〔内容の構成・排列〕 ○ 内容の構成・排列については、第1学年でデータや資料等の情報を関連付けて捉え、わかりやすく伝える活動の後に、第2学年で複数の情報を関連付けて因果関係を解釈し、根拠を明らかにして伝える活動を取り上げる等、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 全学年で「資料編」を掲載し、様々な場面で活用できる実践的知識や具体的な学び方がまとめられる等、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 全学年で巻頭の「領域別教材一覧」に「つきたい力」を提示し生徒に見通しをもたせ、教材の最後には学習を振り返る機会を設ける等、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「『読み方を学ぼう』一覧」を掲載し、二次元コード（QRコンテンツ）から文章を正確に読み解き、深く読み味わうためのポイントについて、授業や家庭学習での予習・復習につなげられるよう、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

国語科（国語）調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1学年 国語・017-72 伝え合う言葉 中学国語 1 第2学年 国語・017-82 伝え合う言葉 中学国語 2 第3学年 国語・017-92 伝え合う言葉 中学国語 3
取扱内容、内容の構成・排列	〔知識及び技能〕 ○ 知識及び技能の内容については、例えば第3学年において新聞や実用文を読み情報の信頼性を確かめたり情報の伝え方を工夫したりする活動を取り上げおり、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるようになっている。また、和歌の技法の理解やリズムを味わう活動等を取り上げており、我が国の言語文化に親しみ理解することができるようになっている。 〔思考力・判断力・表現力等〕 ① 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年において根拠の適切さに注意して説得力のある発表をする活動や、互いの考えを尊重して討論しよりよい結論を導く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 ② 書くことについては、例えば第1学年において信頼できる情報をもとに根拠を明確にして意見文を書く活動や、読み手の立場に立って文章を推敲し伝わりやすい報告文を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようになっている。 ③ 読むことについては、例えば第3学年において作品の表現の仕方を評価する活動や、表現の効果や読み手に与える印象について伝え合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、人間、社会、自然等について自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 〔主体的・対話的で深い学び〕 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については「学びナビ」において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、例えば第3学年において自分の使う言葉や話す場面について意識したり、互いに考えを尊重し根拠が妥当であるかを評価したりする活動等が取り扱われている。 〔内容の構成・排列〕 ○ 内容の構成・排列については、第1学年で共通点や相違点を踏まえて考えをまとめる活動の後に、第2学年で話し手と自分の考えを比較したり質問したりしながら自分の考えをまとめる活動を取り上げる等、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 全学年で「まなびリンク」を掲載し、生徒の家庭学習に資する資料が収録される等、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 全学年で巻頭に「言葉の地図」を掲載し、自らの学習を振り返る観点を示したり「ヒント」や「みちしるべ」に確実に身に付けたい重点的な内容を示したりする等、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「学びのチャレンジ」を掲載し、二次元コード（QRコンテンツ）から興味関心や課題意識を抱いた内容に関して、家庭学習での予習・復習につなげたり生活の中で生かしたりできるよう、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

国語科（国語）調査研究報告書

書名 観点	38・光村図書 第1学年 国語・038-72 国語1 第2学年 国語・038-82 国語2 第3学年 国語・038-92 国語3
取扱内容、内容の構成・排列	〔知識及び技能〕 ○ 知識及び技能の内容については、例えば第3学年において実用的な文章の読解や報道文の比べ読みを通して、社会生活に必要な情報を読み取る技能を身に付けることができるようになっている。古典の文章から心に響いた言葉を引用し、自分の思いを伝える活動を取り上げ、我が国の言語文化に親しむことができるようになっている。 〔思考力・判断力・表現力等〕 ① 話すこと・聞くことについては、例えば第2学年において資料や機器を活用してプレゼンテーションをする活動や多様な捉え方ができる問題について討論する活動を通して、異なる立場や意見を尊重することや、自分の視野を広げることができるようになっている。 ② 書くことについては、例えば第1学年においてグラフ等の統計資料を引用してレポートを書く活動や項目を立てて案内文を書く活動を通して、日常生活や学習の中で相手や目的に応じて自分の思いや考えを表現する力が身に付けられるようになっている。 ③ 読むことについては、例えば第3学年において複数の立場からの意見を読む活動を通して、文章を批判的に読み、評価する力を身に付けたり、グループで討論する活動を通して、伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになっている。 〔主体的・対話的で深い学び〕 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、全学年に「学びのカギ」を設け、学習に見通しをもたせて資質・能力を獲得するように工夫されている。例えば第3学年においては論理の展開を捉えて書くことで説得力を高める活動等が取り扱われている。 〔内容の構成・排列〕 ○ 内容の構成・排列については、第1学年で筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ活動の後に、第2学年で観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える活動を取り上げる等、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ 全学年で「学びへの扉」を掲載し、学習を焦点化し学習の流れを見通して課題に取り組めるように工夫されている。 ○ 全学年で「学びのカギ」一覧を掲載し、文章を読むための基本的な観点を示すことで、生徒が過去の学びを想起し、活用して学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 全学年で「国語の力試し」を掲載し、二次元コード（QRコンテンツ）から興味関心や課題意識を抱いた内容に関して、家庭学習での予習・復習につなげたり生活の中で生かしたりできるよう、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1・2・3学年 書写・002-72 新編 新しい書写 一・二・三年
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～字形の整え方や、情報を整理した書き方を考える活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列等について理解して楷書で書く。 第2学年～書体や筆記具を考え、楷書と行書の使い分けを考える活動を通して、目的や必要に応じて楷書又は行書を選んで書く。 第3学年～身の回りで見られる文字の特徴や工夫を考える活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。 ○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～点画の連続や変化に注意して書く活動を通して、行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く。 第2学年～点画の省略や筆順の変化に注意し、行書と仮名の調和に気を付けて書く活動を通して書き方を理解して、読みやすく速く書く。 第3学年～書体を工夫し、線の太さ等、多様な文字の表現効果を考える活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。 ○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～穂先の向きを意識した点画の書き方、行書を書くための筆の動き等毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く。 第2学年～速く滑らかな動きのための点画の省略、行書と仮名の調和のための筆圧の変化と筆脈等、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く。 第3学年～これまでの学習を生かし、「思いを文字で表そう」において、卒業に向けた作品を硬筆で書く。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1・2学年～自分が書いた文字を使って学習したことを説明する。 第3学年～よりよい作品にするために、学習したことを生かして話し合う。 ○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、次のような工夫がされている。 第1学年～楷書の点画と字形の学習の後に、仮名を書く活動を取り扱う。 第2学年～行書の筆順と筆脈の学習の後に、行書に調和する仮名を取り扱う。 第3学年～身の回りの文字を学習した後に、効果的に書く工夫を取り扱う。
使用上の配慮等	○ 「手紙」や「ポスター」「リーフレット」等の教材を掲載し、書写で学んだことを、普段の生活や他教科の学習に生かせるように工夫されている。 ○ 自らの理解度を客観的に評価することができる「書写テスト」や、巻末に教科の学習や社会生活の中でよく使う書式をまとめた「書写活用ブック」を掲載する等生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 小さい文字でも読みやすいカラーユニバーサルデザインフォントを使用したり全ての生徒の色覚特性に適応するようなデザインにしたりするとともに、二次元コードを掲載する等、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 中学校用教科書目録（令和7年度 文部科学省）による学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	15・三省堂 第1・2・3学年 書写・015-72 現代の書写一・二・三
取扱内容、内容の構成・排列	○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～点画の組み立てや活字と手書き文字・筆順を考える活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解し、楷書で書く。 第2学年～行書と仮名の調和や、場面により楷書と行書を選択して書く活動を通して、目的や必要に応じて、書体を使い分けて書く。 第3学年～身の回りで見られる文字の特徴や工夫を考える活動を通して、文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。 ○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～点画の丸みや連続、形や方向の変化に注意して書く活動を通して、字形による筆使いや漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。 第2学年～点画の省略や筆順の変化に注意して書く活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。 第3学年～手書き文字や活字の特徴や表現効果を考えて書く活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。 ○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～楷書の点画の筆使い、横画や折れの丸みなど、毛筆で学んだことを生かして、一年間をまとめた新聞を筆記具の特性を理解して書く。 第2学年～流れるように書くための筆脈など、毛筆で学んだことを生かして、地域の魅力をまとめた情報誌を楷書と行書を使い分けて書く。 第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、中学校生活の中で印象に残った言葉を集めた名言集を構成や用具・用材を決めて書く。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1・2学年～「書き方を学ぼう」を参考に、学習内容について話し合う。 第3学年～身の回りの文字や活字を参考に、文字の魅力を話し合う。 ○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、次のような工夫がされている。 第1学年～楷書の字形や筆使いの学習の後に、行書の特徴を取り扱う。 第2学年～行書と仮名の調和の学習の後に、楷書と行書の使い分けを取り扱う。 第3学年～身の回りの文字の学習の後に、効果的に書くことを取り扱う。
使用上の配慮等	○ 「グループ新聞」や「情報誌」など、国語科や他の教科との関連を図り、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 学習したことを確認できる「振り返ろう」や、日常生活で使われる様式をまとめた「日常の書式」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 目立つフォントで示したり、カラーユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 中学校用教科書目録（令和7年度 文部科学省）による学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1・2・3学年 書写・017-72 中学書写
取扱内容、内容の構成・排列	○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～筆順のきまりや漢字と仮名の大きさを考える活動を通して、字形を整え、文字の大きさや配列等について理解して、楷書で書く。 第2学年～行書と仮名の調和と配列を理解し速さを意識して書く活動を通して、書く場面や目的に応じて、楷書又は行書を選んで書く。 第3学年～既習事項を生かし身の回りで見かける多様な文字の表現を効果について考え、文学作品を書く活動を通して、効果的に文字を書く。 ○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～小筆で書く活動を通して文字の大きさや配列を学び、行書の筆使いや点画の連続という行書の基礎を理解し、大筆を用い行書で書く。 第2学年～小筆で書く活動を通して文字の大きさや配列を学び、漢字と仮名の調和を理解し、大筆を用いて漢字と仮名の混じった課題を書く。 第3学年～既習事項を生かし漢字と仮名の混じった課題や俳句を書く活動を通して、文字文化の豊かさに触れつつ調和を理解し効果的に文字を書く。 ○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～点画の書き方、行書の筆使いや毛筆での学びを生かして、古典の文学作品の冒頭や植物の観察レポート、ポップ、ポスターを硬筆で書く。 第2学年～筆の動きや行書に調和する仮名を書く筆使い等、書く速さ等毛筆で学んだことを生かして文学作品や古典の文学作品の一部を硬筆で書く。 第3学年～これまでの学習を生かし、用具や書体を選択し身の回りで見かける文字の表現効果を考えてメッセージカード等に効果的に文字を書く。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1・2学年～書写の学習用語を用い、学習内容や互いの作品について話し合う。 第3学年～書写の学習用語を用い、学習内容や互いの作品について話し合う。 ○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、次のような工夫がされている。 第1学年～楷書の筆脈の学習の後に、文字の大きさや行の中心を取り扱う。 第2学年～行書の筆脈の学習の後に、行書に調和する仮名を取り扱う。 第3学年～多様な表現による文字の学習の後に、文字の効果について取り扱う。
使用上の配慮等	○ 「文字の変遷」や「日本の建築と『書』」等、国語科や他教科と関連を図った教材を掲載する等、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 自ら書いて確かめる「書き込み欄」や、巻末に実社会で活用できる基本的な書式をまとめた「書式の教室」、三年間の学習を確認できる「書写テストで確認」を掲載する等生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 学習の進め方の手立てについて説明するページを設け、ユニバーサルデザインフォントを使用したり1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載したりする等、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 中学校用教科書目録（令和7年度 文部科学省）による学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

国語科（書写）調査研究報告書

書名 観点	38・光村図書 第1・2・3学年 書写・038-72 中学書写一・二・三年
取扱内容、内容の構成・排列	○ 硬筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～外形と中心、筆順、点画と部分の組み立て方を考える活動を通して、文字の大きさと配列について理解し、楷書で書く。 第2学年～点画を部分別に行書で書く活動を通して、点画の省略や筆順の変化を理解し日常生活の必要に応じて、楷書と行書を使い分けて書く。 第3学年～楷書と行書の既習事項を確かめる活動を通して、使い分けと効果について理解し、我が国の豊かな文字文化に触れて効果的に文字を書く。 ○ 毛筆については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～小筆で書く活動を通して文字の大きさや配列を学び、点画の変化や連続という行書の基礎を理解し、大筆を用いて行書で書く。 第2学年～小筆で書く活動を通して漢字と仮名の調和を学び、両者の調和を理解して、大筆を用いて漢字と仮名が混じった課題を書く。 第3学年～日常生活の中で文字が効果的に使われているものを探す活動を通して言語文化を理解し、書体の表現効果を考え効果的に文字を書く。 ○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～筆圧や点画のつながりを意識した筆使いや筆の運びなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く。 第2学年～次の画への筆脈を意識した穂先の動きや、行書と仮名の調和を意識し筆脈など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く。 第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、「言葉を書こう3」においてこれまでの学習で印象に残った言葉や実用的な文書や言葉を硬筆で書く。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1・2学年～友達の意見を聞きノートにまとめたり、共有したりする。 第3学年～手書きのよさ、効果や印象などについて話し合う。 ○ 内容の構成・排列については、系統的・発展的に学習できるように、次のような工夫がされている。 第1学年～楷書の筆使いや字形の学習の後に、仮名を書く活動を取り扱う。 第2学年～行書の筆順や筆脈の学習の後に、行書に調和する仮名を取り扱う。 第3学年～身の回りの文字を学習した後に、効果的に書く活動を取り扱う。
使用上の配慮等	○ 日本各地の石碑や街並みで使われている文字や、ユニバーサルデザインで用いられている文字の写真を掲載し、学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 学習したことを確認する「書写テストに挑戦しよう」や「都道府県名を練習しよう」「年賀状を書こう」など、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 学習の進め方について示したページを設け、全ての生徒が学習しやすいようユニバーサルデザイン書体を使用し二次元コードを掲載するなど、デジタル教材を使用しやすいよう工夫されている。
その他	○ 中学校用教科書目録（令和7年度 文部科学省）による学習者用デジタル教科書が発行され、デジタルコンテンツの活用も有効になっている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	社会科	小委員会
----------------	-----	------

委員長 喜 多 哲 也

印

委 員 北 川 大

委 員 藤 田 洋 平

委 員 遠 藤 明 史

委 員 大 浦 幸 一

委 員 神 野 直 樹

委 員 粂 井 正 之

委 員 伊 谷 美 香

委 員 菊 池 浩 徳

委 員

委 員

学校種目	中 学 校	種 目	社会	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出(北見市立東相内中学校 喜多哲也校長) ○調査研究内容の確認 「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回(7/11)までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ・第3回(7/18)までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ○調査研究等の役割分担 ・地理 神野委員、靱井委員(教出、帝国、東書、日文) ・歴史 藤田委員、遠藤委員(教出、山川、自由、令和、帝国、東書、日文) ・公民 大浦委員、北川委員(教出、帝国、東書、自由、日文) ・地図 大浦委員、北川委員(帝国、東書) <第2回調査委員会> ○各委員からの調査結果の小委員会への報告と研究協議 ・各者とも写真や統計資料が豊富に掲載されており、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ・各者とも身近な事例を取り上げ、自分の考えを説明したり論述したりする活動がしやすく工夫されている。 ・各者とも主体的・対話的で深い学びの実現が図られるよう随所に様々な工夫がなされている。 ・各者とも学習課題を立てる「導入の活動」や単元の学習課題を解決する「まとめの活動」を設定するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○検討事項の確認 ・歴史と地理・公民の教科書会社の違いと指導上の課題等 ・地図と地理の教科書会社の違いと指導上の課題等 ○調査報告書の作成 ・地理 神野委員(教出、帝国) 靱井委員(東書、日文) ・歴史 藤田委員(教出、山川、自由) 遠藤委員(帝国、東書、日文、令和) ・公民 大浦委員(教出、帝国、東書) 北川委員(自由、日文) ・地図 北川委員(帝国、東書) <第3回調査委員会> ○調査報告書の作成 ○検討事項についての協議と確認				
少数意見及び参考となる事項	「特になし」				

社会科（地理的分野） 調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1・2学年 地理的分野 地理・002-72 新編 新しい社会 地理
取扱内容、内容の構成・排列	○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境などから地域構成を大観したり、信仰する宗教との関係など国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図の違いに着目して人々の生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、自然環境や歴史、産業から州ごとの特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「経済発展は、地域にどのような影響をあたえているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、兵庫県神戸市を例に、自然環境や人口、産業、交通等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地震や津波の仕組み、防災・減災の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、産業、交通・通信、生活・文化から7地方の特色をとらえたり、「近畿地方の都市と農村は、どのように変化してきたか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、興味・関心を引き出す「導入資料」を設けたり、参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置し集団で対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、各単元の導入部において、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けるとともに、写真や雨温図などの資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法を活用する場面を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ 社会科以外のさまざまな教科でも取り扱っている学習内容には、マークを付すことで他教科で学んだ見方・考え方を用いて、社会的事象や現代的な諸課題をより深く理解できるよう工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている

社会科（地理的分野） 調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1・2学年 地理的分野 地理・017-72 中学社会 地理 地域にまなぶ
取扱内容、内容の構成・排列	○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口などから地域構成を大観したり、国旗や国名に織り込まれている文化や歴史から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界の位置関係や都道府県の名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の衣服・食事・住まいや言語・宗教に着目して人々の生活の様子を考察したり、世界各地の自然・社会条件と労働とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の自然環境や他地域との結びつきから州ごとの特色を大まかにとらえたり、ヨーロッパ州では、「なぜ、国々の結びつきが強まったのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市を例に、歴史・文化、交通、商業等、適切な主題を設けて追究したり、観察や聞き取り調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地形、自然災害と防災、開発と環境保全の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信などから7地方の特色をとらえたり、「九州地方における自然環境とその保全」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、生徒の興味・関心が高まるような写真・図版を提示したり、「確認」「表現」のコーナーを配置し、他者と交流したりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地理にアプローチ」において、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方などを振り返る活動を位置付けるとともに、「地域の在り方」では、発表会に地域の方々を招いて意見を提案しようとするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「日本の諸地域」において、北海道における豊かな自然と観光を取り上げたり特設ページ「持続可能な社会に向けて」の中でアイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 章や節の末尾において、「学習のまとめと表現」のページを設け、主な地名や言葉を確認する活動や、自分の言葉で説明する学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている

社会科（地理的分野） 調査研究報告書

書名 観点	46・帝国書院 第1・2学年 地理的分野 地理・046-72 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、世界の国々や都市の位置から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の自然環境や歴史、産業から州ごとの特色を大まかにとらえたり、南アメリカ州では、「農地や鉱山の開発による地域への影響」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区を例に、自然環境や人口、都市、産業等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、産業、交通、通信等の特徴をとらえたり、防災・減災のために行われている取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、生活・文化、産業から7地方の特色をとらえたり、「中部地方の産業は自然環境や交通網の整備を背景にどのように変化してきたか」という主題を設けて課題を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元のはじめに、大判な写真から地域を概観する「写真で眺める」を設定したり、単元のまとめに「学習を振り返ろう」を配置し、思考ツールを活用して他者と対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、脚注欄に既習内容の関連用語を提示するとともに、自らがどのように社会に参画していくかを考える「未来に向けて」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「地域構成」において、日本の領域について現在の状況を取り上げたり、諸外国との歴史的な背景を紹介したりするなど、学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「日本の諸地域」において、北海道の自然環境と人々のかかわりを取り上げたり、日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史を紹介したりするなど、学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている

社会科（地理的分野） 調査研究報告書

書名 観点	116・日本文教出版 第1・2学年 地理的分野 地理・116-72 中学社会 地理的分野
取扱内容、内容の構成・排列	○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、国名や国旗の意味から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、位置を示すなど日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の自然環境や産業から州ごとの特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「資源にたよる経済をどのように克服しようとしているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、京都府京都市を例に、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信等、適切な主題を設けて追究したり、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境、交通・通信等の特色をとらえたり、「関東地方の人口分布にはどのような特色があり、何が課題になっているか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮城県宮崎市を例に地域の魅力を高めるために課題の解決策を考察し、情報を集め構想したり、よりよい地域の将来像について話し合ったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、対話するための具体的な問を提示する「議論してみよう」や「学び合い」マークが配置され、グループで話し合うなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「学習のはじめに」や本文、脚注の「連携コーナー」に小学校社会科の学習内容を提示するとともに、地理的分野の学習に必要な地理的技能を習得する「スキルUP」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 日本の諸地域において、北海道における自然環境を生かした観光や、アイヌの人々の文化、アイヌ語由来の地名を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 導入ページに、単元を貫く問を設定する「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」や、各単元末に「まとめふり返り」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行予定されている。

社会科（歴史的分野）調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1・2・3学年 歴史的分野 歴史・002-72 新編 新しい社会 歴史
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財、出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや問いを設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、律令国家の成立に着目して、貴族と庶民の生活に相違が出た理由を考察したり、単元のまとめでは「どのように国家が形成されたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、武士政権の特色に着目して、貴族の邸宅と武士の館の違いを考察したり、単元のまとめでは「武士の支配が広がり社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、幕藩体制の仕組みに着目して、地図で大名の配置を読み取り、その理由を考察したり、単元のまとめでは「社会にどのような変化が見られたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の改革に着目して、琉球とアイヌの人々への対応の共通点を考察したり、単元のまとめでは「近代化で日本はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、国民生活の変化に着目して、日本復興を象徴する出来事を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本は何をきっかけに成長したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、近世の社会の様子学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風絵等の複数の資料を比較し、時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習などが取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとびら」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「アイヌ文化とその継承」として、儀式や生活の様子などの資料を掲載して、アイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「チェック＆トライ」で一単位時間の学習の最後に振り返る活動や、自分の意見を調整する活動を掲載するなど主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（歴史的分野）調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1・2・3学年 歴史的分野 歴史・017-72 中学社会 歴史 未来をひらく
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、できごとなどに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、鎌倉や名古屋の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、発表方法などを示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、律令制のもとでの暮らしを考察したり、単元のまとめでは「国はどのように生まれたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「武士と民衆の成長によって、社会はどう変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の国際関係に着目して、鎖国の下での世界との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「近世の日本はどのような政治のしくみをつくったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の政策に着目して、アイヌ民族たちへの影響を考察したり、単元のまとめでは「近代の日本では政治・社会・文化はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、世界での日本の役割に着目して、平和に関する取組を考察したり、単元のまとめでは「戦後、日本は世界とどう関わり、社会をどう変化させたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、中世の日本と世界の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方・調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動や、「表現」で学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（歴史的分野）調査研究報告書

書名 観点	46・帝国書院 第1・2・3学年 歴史的分野 歴史046-72 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、博多や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代の国家形成に着目して、前方後円墳の役割を考察したり、単元のまとめでは「古代の社会にはどのような特色があったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、武士の暮らしの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士による政治で社会がどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の方針に着目して、江戸時代の政治や社会の特色を考察したり、単元のまとめでは「全国を統一する政権の誕生で社会がどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治維新に着目して、明治政府の国づくりの進め方を考察したり、単元のまとめでは「近代国家の建設を目指し社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、高度経済成長の意義を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本の社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、江戸時代の町人文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともにイラスト等の複数の資料を基に江戸の人々の暮らしについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「アイヌ民族の暮らし」として、儀式や生活の様子、言葉などの資料を掲載して、アイヌ民族の生活の様子や交易を説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「説明しよう」で説明する活動を通して学習を振り返る活動や、自分の意見をまとめたり、他者の意見を交換したりする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（歴史的分野）調査研究報告書

書名 観点	81・山川出版社 第1・2・3学年 歴史的分野 歴史・081-72 中学歴史 日本と世界 改訂版
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、考古学や政治、社会、年号による時代区分についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、平泉や金沢の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、平安時代の東アジアとの交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の武家政治の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割の変化を考察したり、単元のまとめでは「宗教の果たした役割を考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の対外関係に着目して、文化の形成を考察したり、単元のまとめでは「社会や経済の変化に対して、幕府はどのように対応したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法と日本の民主化に着目して、国際関係の変化と日本の外交を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起きた戦争の特徴は何か」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ アイヌ民族の歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「ステップアップ」で一単位時間の学習内容を踏まえた発展的な学習活動や「歴史で考えよう」で学んだことを基に話し合い、考察する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（歴史的分野）調査研究報告書

書名 観点	116・日本文教出版 第1・2・3学年 歴史的分野 歴史・116-72 中学社会 歴史的分野
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、ことがらに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や姫路の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、律令国家の成立に着目して、政治や文化の特色を考察したり、単元のまとめでは「日本という国はどのように生まれ、発達していったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の商工業の発展に着目して、社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「たえず戦乱がくり返される時代となったのはなぜか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策に着目して、政治改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、幕藩体制との違いに着目して、明治政府の政策の目的を考察したり、単元のまとめでは「近代化の特色はどのような点にあらわれているか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、外国との関係に着目して、世界に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「戦後日本は平和で民主的な暮らしをどう追求したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図や年表などの複数の資料を基に、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。
使用上の配慮等	○ アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で一単位時間の学習の理解を確認する活動や、「学び合い」で話し合いなどの対話的な活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（歴史的分野）調査研究報告書

書名 観点	225・自由社 第1・2・3学年 歴史的分野 歴史・225-72 新しい歴史教科書
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校の歴史学習で学んだ人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良と京都の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や考察したことから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、大和朝廷による国内の統一に着目して、古墳の広まりから勢力の広がりを考察したり、単元のまとめでは「古代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特徴に着目して、将軍と武士の主従関係を考察したり、単元のまとめでは「中世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の諸政策の目的に着目して、江戸時代の社会の安定を考察したり、単元のまとめでは「近世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、近代産業の発展と国民生活の変化に着目して日本の産業革命の進行を考察したり、単元のまとめでは「近代前半とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、高度経済成長と日本の発展に着目して、社会や外交への影響を考察したり、単元のまとめでは「現代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、二つの世界大戦と日本の学習において、学習課題を設定して、見通しをもたせるとともに、二つの世界大戦の共通点と違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ アイヌの人々の文化や生活について、イオマンテなどの祭りや音楽、サケ、コンブ、毛皮などの交易の様子を説明するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物や、「チャレンジ」で単元を学習したあと挑戦したいワンポイントの課題を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、ICTの活用例を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（歴史的分野）調査研究報告書

書名 観点	236・令和書籍 第1・2・3学年 歴史的分野 歴史・236-73 国史教科書 第7版
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物と文化に着目して、時代区分との関りについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの説明から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、堺の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代国家形成に着目して、同じ形の前方後円墳が点在する意味を考察したり、単元のまとめでは「古代の時代ごとの特色をとらえよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、南北朝と室町幕府に着目して、足利尊氏が政権から離反した理由を考察したり、単元のまとめでは「鎌倉時代に登場した新しい仏教を分類しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の仕組みに着目して、幕府が200年以上も続いた理由を考察したり、単元のまとめでは「世界の植民地競争に巻き込まれた激動の時代を調べよう」という主題を設けて特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、日清・日露戦争に着目して、諸国に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「明治維新による近代化と弊害について調べ考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本経済の発展に着目して、戦後復興のための国民の努力を考察したり、単元のまとめでは「歴史について議論し協力して結論を導こう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、明治維新の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、明治維新による近代化のさまざまな側面について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「国史を学ぶにあたって」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 「鎖国下の対外窓口」の中で、儀式の様子を伝える資料を掲載して、アイヌの人々と和人との交易について紹介するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「歴史カードを作ってみよう」で小学校で学んだ人物について調べる活動や、「グループで歴史を調べよう」でテーマを決めて調べる活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

社会科（公民的分野） 調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第3学年 公民・002-92 新編 新しい社会 公民
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、日本で暮らす外国人の数の推移について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、部活動の体育館利用の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、ケーキの価格の決め方について、分業と交換希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、日本の少子高齢化による日本の社会保障への影響について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、憲法改正の手続きについて、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、選挙シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の難民発生数について、協調持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちのくらしと経済」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、経済活動の意義や市場経済について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・内考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の 配慮等	○ 地方自治にかかわる学習においては、芽室町の議会改革・活性化について、人権にかかわる学習においては、旭川市のアイヌ語の地名表示板について掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元の学習課題を立てる「導入の活動」や単元の学習課題を解決する「まとめの活動」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（公民的分野） 調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第3学年 公民・017-92 中学社会 公民 とともに生きる
取扱内容、内容の構成・排列	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、総人口と年齢別人口の割合について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、合唱の練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、キャベツの月別の入荷量と平均価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、社会保障費の給付と負担のこれからについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、男女の平均賃金の推移について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、選挙のしくみや裁判員裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、ユニセフが支援する学校について協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「安心して豊かに暮らせる社会」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会資本の整備や環境の保全について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「私たちの暮らしと現代社会」において、現代社会の考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な未来の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 地方自治にかかわる学習においては、倶知安町のみんなで親しむ雪条例について、人権にかかわる学習においては、名寄市の「コロナいじめゼロ宣言」のポスターを掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 生徒の生活体験から単元の学習課題を捉える「ウォーミングアップ！公民」や章・節の学習を振り返る「学習のまとめと表現」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（公民的分野）調査研究報告書

書名 観点	46・帝国書院 第3学年 公民・046-92 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
取扱内容、内容の構成・排列	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、主な情報機器の保有状況について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したりマンションの騒音問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、みかんの入荷量と1キログラムあたりの価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、赤字路線バスの事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、婚姻平等の議論について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、スイスの直接民主制や少年議会について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界で頻発する異常気象について協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の形成」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「経済活動と私たち」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、経済活動の意義や金融のしくみと働きについて調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 現代社会における文化にかかわる学習においては、北海道のアイヌ民族が受け継いできた文化について、地方自治にかかわる学習においては、旭山動物園条例について掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ イラストを読み解き、単元の見通しをもつ「学習の前に」や単元の学習を振り返る「学習を振り返ろう」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（公民的分野）調査研究報告書

書名 観点	116・日本文教出版 第3学年 公民・116-92 中学社会 公民的分野
取扱内容、内容の構成・排列	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、日本の貿易と企業の海外進出について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、合唱の練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、トマトの価格の決め方について、分業と交換希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、社会保障制度の給付と負担のイメージについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハンセン病訴訟について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、裁判員裁判シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界における飢餓の状況について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとし、よりよい社会を築いてくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「国民主権と日本の政治」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、政党の役割や地方自治の基本的な考え方について調べ、国民の政治参加について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 日本の伝統文化にかかわる学習においては、白老町の国立アイヌ民族博物館について、地方自治にかかわる学習においては、夕張市の寄付を活用した取り組みについて掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 身近な事例から単元の学習課題を立てる「学習のはじめに」や単元の学習課題を解決する「まとめとふり返し」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（公民的分野） 調査研究報告書

書名 観点	225・自由社 第3学年 公民・225-92 新しい公民教科書
取扱内容、内容の構成・排列	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、日本の人口ピラミッドの変化について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、体育館使用問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、均衡価格の決定について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、世界の主要な国の国民負担率について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たすべき役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、新しい権利について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、政党の役割や選挙制度、裁判員制度について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の人口予測について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「国際社会に生きる日本」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国家間の相互の主権の尊重や国際機構の役割について調べ、国際社会における我が国の役割について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「現代社会の自画像、個人と社会生活」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章ではまとめとして、持続可能な社会の構築について探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 地方自治にかかわる学習においては、北海道胆振東部地震を、日本の伝統工芸品にかかわる学習においては、日高地方の二風谷アットゥシについて掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 発展的に学習して、理解を深める「もっと知りたい」や各章の学習を強化したり深めたりする「学習のまとめと発展」を設けるなど 生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、二次元コードを掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による ○ 学習者用デジタル教科書の発行予定されている

社会科（地図）調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1・2・3学年 地図・002-72 新編 新しい社会 地図
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界全図」において、海洋や極地に着目した地図から地球全体の姿を比較したり、地形や気候を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、学習テーマに沿って、地域や経年変化を比較したり国名や主要な都市名、自然地名を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界の地形や気候、人々の生活や文化、産業などを調べたり、複数の資料から特色を読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の祭りや伝統工芸品などを調べたり、領土をめぐる問題を抱えている島々を地図や写真で示し、日本の領域を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、縮尺を100 万分の1に統一した地図から距離感や地形を比較したり、様々なスケールで日本の土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、地形、降水量、人口分布、土地利用などの主題図から基本的な情報を読み取ったり、日本で起こりやすい災害を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて捉えたり考えを広げたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列について、三分野の学習に活用できる主題図において、現代の諸課題に関連する資料を掲載し、歴史に関連する場所を示す「歴史の舞台」を充実したりするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の 配慮等	○ 「江戸・東京の鳥瞰図」など、歴史や地形を視覚的にとらえることができる見開き全体を使った資料や、調べ学習や修学旅行で活用できる地図を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 地図の活用法や学習を深める問いを提示した「Bee's eye（ビーズアイ）」のコーナーを設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ ユニバーサルフォントを使用したり、グラフや地図などでは、見分けやすい色を使用するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

社会科（地図）調査研究報告書

書名 観点	46・帝国書院 第1・2・3学年 地図・046-72 中学校社会科地図
取扱内容、内容の構成・排列	○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「世界全図」において、日本中心の地図とヨーロッパ中心の地図を比較したり、地域の時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、同じ縮尺の図から地域の特色を比較したり、世界各地の環境問題の取組を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界各州の自然環境や生活・文化、歴史、産業などを調べたり、世界と日本とのつながりを読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の伝統工芸品や世界文化遺産を調べたり、北方領土、竹島、尖閣諸島についての資料から日本固有の領土を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、地域の変化の様子を捉えられるよう、昔と今の地域の様子を比較したり、50万分の1図において、土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、自然、降水量、人口分布、産業、工業・交通の5図から分布の特徴を読み取ったり、自然災害や防災の取組を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「地図で発見！」のコーナーを設け、地理的な見方・考え方を働かせる問いを追究したり、考えを説明したりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、歴史的分野及び公民的分野の学習と関係が深いページにおいて、「歴史アイコン」「公民アイコン」を示し、他分野の学習に活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 世界の各州に、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、修学旅行や平和学習に活用できるイラストの入った地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 地図帳の見方・使い方を解説した「この地図帳の凡例」や「この地図帳の使い方」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年） ○ 読みやすいフォントとなるよう配慮したり、カラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現にしたりするとともに、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

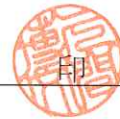
第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	数 学	小委員会
----------------	-----	------

委員長 久 間 博 文



委 員 米 村 隆 宏

委 員 渡 辺 友 章

委 員 三 宮 正 裕

委 員 木 野 村 寧

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

学校種目	中 学 校	種 目	数 学	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○ 小委員会委員長等の選出 - 委員長（北見市立高栄中学校校長） - 副委員長（北見市立相内中学校教頭） ○ 調査研究内容項目および調査研究の取扱学年の確認 ・ 数と式 … 第3学年 ・ 図 形 … 第2学年 ・ 関 数 … 第1学年 ・ データの活用 … 第2学年 ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応 … 第3学年 ・ 内容の構成・排列 … 第1学年 ○ 調査研究報告書（第1案）の役割分担 - 渡辺委員 … 啓林館、大日本図書 - 三宮委員 … 学校図書、東京書籍 - 米村委員 … 教育出版、数研出版 - 久間委員 … 日本文教出版 <第2回調査委員会> ○ 各出版社の特色確認（木野村委員作成の一覧資料） ○ 調査研究結果報告書（第1案）の交流 ○ 編修趣意書を加味して調査研究報告書（第2案）作成作業 ○ 調査研究内容6項目の記載 … 4行を基本 <第3回調査委員会> ○ 調査研究結果報告書（第2案）の交流 ・ 渡辺委員と三宮委員、米村委員と久間委員で相互確認 ○ 各委員からの研究調査結果の報告・確認 ・ 各者の特徴について（学習指導要領の趣旨を踏まえて） ○ 調査内容の最終確認 ・ 各者の特徴の相違点が明確に分かるような表記方法になっているかについて ・ 各者の特徴に表記で過不足な点の有無について ・ 誤字脱字の有無について ○ 調査研究報告書（最終提出用）の確定 ・ 調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を要約し記述した。				
少数意見及び参考となる事項	特記事項なし				

数学科調査研究報告書

書 名 観 点	2・東京書籍 第1学年 数学・002-72 新編 新しい数学1 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 第2学年 数学・002-82 新編 新しい数学2 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 第3学年 数学・002-92 新編 新しい数学3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
取扱 内容、 内容の 構成・ 排列	○ 数と式については、第3学年では、一定の長さのロープで囲んだ長方形の面積について、実際に長方形をかいて調べる活動を通して、文字を用いて数量の関係を考察して二次方程式についての理解を深められるようにし、問題発見・解決の過程を通して考える力を身に付けさせる工夫がなされている。 ○ 図形については、第2学年では、ロボットがしゃがむ動作から平行四辺形になるための条件を考える活動を通して、三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用できるようにし、数学と日常生活との関連を実感できる工夫がなされている。 ○ 関数については、第1学年では、水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係を表、式、グラフで調べる活動を通して、比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ、考察できるようにし、生徒の疑問を引き出し、次の学びに向かう意欲が高まる工夫がなされている。 ○ データの活用については、第2学年では、牛乳の販売数のデータを四分位範囲や箱ひげ図を用いて比べる活動を通して、平日と休日の販売数の傾向の違いを読み取り、考察できるようにし、統計的探究プロセスを意識して学習を進められる工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、三角形と比の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、四角形の各辺の中点を結んでできる四角形について考え、条件を変えて調べた結果について話し合い、考えを広げ深める活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年では、図形の移動に着目し、二つの図形の関係について理解する学習の後に、基本的な作図の方法を考察し表現する問題を扱うなど、系統的・発展的に学習できるようにし、図形を動的に観察・操作できる工夫がなされている。
使用 上の 配慮等	○ 生徒の学習意欲を高めることについては、生徒の身のまわりにある題材を扱ったり、MATH CONNECTとして、数学と実社会とのつながりを示し、数学の有用性を実感できるようにしたりする工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことについては、既習内容を生かすことができるようにする「補助発問」の掲載、働かせた見方・考え方を振り返ってレポートにまとめる「章のふり返りレポート」の掲載という工夫がなされている。 ○ 使用上の便宜については、ノート・レポートの作成指導、二次元コード端末学習、UDフォント採用、文章の文節改行が特徴である。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

数学科調査研究報告書

書名 観点	4・大日本 第1学年 数学・702 数学の世界1 第2学年 数学・802 数学の世界2 第3学年 数学・902 数学の世界3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と式については、第3学年では、数当てゲームの計算手順から方程式をつくり、いろいろな数を代入し等式を成り立たせる文字の値を調べる活動を通して、二次方程式を解く方法を考察し表現できるようにし、見出した問題をもとにめあてを設定し、数学的な見方・考え方を働かせる工夫がなされている。 ○ 図形については、第2学年では、遊園地にある乗り物の動きから平行四辺形になるための条件を考える活動を通して、三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用できるようにし、問題発見から解決の流れを示して自主的・自律的に数学的活動に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 関数については、第1学年では、等速で走っている選手の走った時間と進んだ距離の関係を表、式、グラフで調べる活動を通して、比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え、考察し表現できるようにし、見出した問題の解決の仕方が身に付くことができる工夫がなされている。 ○ データの活用については、第2学年では、日本とイランのバレーボール選手の身長データを四分位範囲や箱ひげ図を用いて比べる活動を通して、データの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断できるようにし、統計的な問題の解決の方法に沿った活動となる工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、関数の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自動車の停止距離について考え、停止距離を求めるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年では、図形の移動に着目し、基本的な作図の方法を理解する学習の後に、二つの図形の関係について考察し表現する問題を扱うなど、系統的・発展的に学習できるようにし、活動・例・例題の適切な配置によって学ぶことを明確にする工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 生徒の学習意欲を高めることについては、生徒自らが問題や疑問を見いだすことができるよう「考えよう」を掲載したり、数学と社会とのつながりが実感できる「MATHFUL」を掲載したりするという工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことについては、巻頭における数学の学習の進め方についての説明や、問題発見・問題解決の流れを配示した活動を掲載するという工夫がなされている。 ○ 使用上の便宜については、ノート・レポート作成指導、二次元コード端末学習、UDフォント採用、実生活での数学の例示や領域ごとの色設定が特徴である。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

数学科調査研究報告書

書名 観点	11・学校図書 第1学年 数学・011-72 中学校 数学 1 第2学年 数学・011-82 中学校 数学 2 第3学年 数学・011-92 中学校 数学 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と式については、第3学年では、総数が決まっている太陽電池を長方形に敷き詰めた枚数の関係から方程式をつくり、解を考える活動を通して、二次方程式を解く方法を考察し表現できるようにし、どのように解決していけばよいか、主体的に考えながら取り組める工夫がなされている。 ○ 図形については、第2学年では、段ボール箱の開いている部分を四角形に置き換えて考え、基本的な平面図形の性質を見出す活動を通して、三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用できるようにし、図形の性質が生かされ利用されていることに気付ける工夫がなされている。 ○ 関数については、第1学年では、視力検査に用いるランドルト環の外側の直径と視力の関係を表、式、グラフで調べる活動を通して、比例、反比例の関係をとりえ、考察できるようにし、比例や反比例が身のまわりで利用されていることを実感できる工夫がなされている。 ○ データの活用については、第2学年では、メルボルンと東京の最高気温のデータを代表値や箱ひげ図を用いて比べる活動を通して、分布の傾向を読み取って考察できるようにし、比較して判断する課題を設けることで、対話的な学びが実現できる工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、円周角と中心角の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、円周角と中心角の関係を予想したり、3つの場合の位置関係についてそれぞれ証明したりするなどして、考えを広げ深める活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年では、図形の移動に着目し、基本的な作図の方法を理解する学習の後に、二つの図形の関係について考察し表現する問題を扱うなど、系統的・発展的に学習できるようにし、既習事項とのつながりが分かる工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高めることについては、身近な題材を扱い、話し合い活動を取り入れるための「Q」を設け、「数学へのいざない」で章の内容を広げ深める興味深い事象を掲示するという工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことについては、各章・各節のはじめに「疑問を発見する」ページの設定、章末で自己評価ができる「できるようになったこと・さらに学んでみたいこと」の掲載という工夫がなされている。 ○ 使用上の便宜については、ノート・レポート作成指導、二次元コード端末学習、UDフォント採用、文章の分節改行、判別しやすい色使いが特徴である。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

数学科調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1学年 数学・017-72 中学数学1 第2学年 数学・017-82 中学数学2 第3学年 数学・017-92 中学数学3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と式については、第3学年では、一定の長さのロープを使って作った長方形の花だんの面積と辺の長さや次数に着目して調べる活動を通して、面積の関係から表した2次方程式を解く方法を考察し表現できるようにし、他者の考えを聞いたり自分の考えを説明したりする場面を設ける工夫がなされている。 ○ 図形については、第2学年では、遊園地にある乗り物の動きを平面図形に置き換えて考え、仕組みを考察する活動を通して、三角形や平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件などを具体的な場面で活用し、数学と日常生活との関連を感じることができる工夫がなされている。 ○ 関数については、第1学年では、水そうに水を入れ始めてからの時間と水面の高さの関係を表、式、グラフで調べる活動など、関数関係にある具体的な事象の考察、表現を通して、比例、反比例を捉え、問題発見・解決の数学的活動のプロセスを例示する工夫がなされている。 ○ データの活用については、第2学年では、京都における冬日の日数のデータを四分位範囲や箱ひげ図を用いて比べる活動を通して、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断できるようにし、数学と日常生活との関連を感じることができる工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、式の利用の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、整数の性質を予想し、それぞれの予想を確かめるために話し合いながら証明を考えたり、振り返ったり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年では、整数の見方の学習において、自然数の範囲で考える素数や素因数分解について学習したあとに、正の数、負の数の学習において負の数に拡張する構成となっているなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高めることについては、「Let's Try」で日常の事象から考え始める章の導入や、「数学の広場」で学習を深めることや、「数学しごと人」で実社会や生活、先端テクノロジーに関する話題の掲載という工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことについては、「もどって確認」での既習事項の確認、章末「学習のまとめ」で学習感想を書くという振り返りの場面を設け、学習を評価・改善できるようにする工夫がなされている。 ○ 使用上の便宜については、UDフォント採用や読みやすい改行で落ち着いた学べる紙面、二次元コード端末学習、「まなびリンク」の掲載が特徴である。
その他	※ 中学校教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

数学科調査研究報告書

書名 観点	61・啓林館 第1学年 数学・061-72 未来へひろがる数学1 第2学年 数学・061-82 未来へひろがる数学2 第3学年 数学・061-92 未来へひろがる数学3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と式については、第3学年では、カレンダーを見て、ある日の真上の数と真下の数の積の関係を表した方程式を立て、解を考える活動を通して、二次方程式を解く方法を考察し表現できるようにし、自分の考えを伝えたり、他者の考えを自分の考えと比較したりする場面を設ける工夫がなされている。 ○ 図形については、第2学年では、これまでに学んだ図形の性質を利用して、問題の条件を変更しても図形の性質が成り立つかどうかを予想し、解決の見通しを立てて問題を解決しながら、問題解決の過程を振り返ることを通して、さらに問題を深めていくような工夫がされている。 ○ 関数については、第1学年では、線香に火をつけてからの時間と燃えた長さの関係を表、式、グラフで調べる活動を通して、比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え、考察し表現できるようにし、数学的な概念・原理・法則を、具体的な例を通して理解できる工夫がなされている。 ○ データの活用については、第2学年では、接続会社ごとのインターネットの通信速度のデータを四分位範囲や箱ひげ図を用いて比べる活動を通して、データの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断できるようにし、協働学習を進められる工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、標本調査とデータの活用の学習において、図書委員の立場で図書室の利用状況についてアンケートを取る場面から考察することを設定し、学習した内容を日常生活にどう活かすのか話し合い、解決していく活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・配列については、第1学年では、図形の移動に着目し、二つの図形の関係について理解する学習の後に、基本的な作図の方法を考察し表現する問題を扱うなど、系統的・発展的に学習できるようにし、既習事項とのつながりが分かる工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 生徒の学習意欲を高めることについては、「学習のとびら」で、その節の学習を進めれば解決できる実生活の問題を取り上げ、導入補助や自学を想定した解説の動画など、学ぶ楽しさや意義を実感できるような工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことについては、全単元に節「〇〇の利用」の配置、ステップ方式利用問題で「深める例」の例示、自学調整「数学の広場」の配置により、知的好奇心を高めて学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 使用上の便宜については、文節での文章改行、UDフォント採用、学びやすい配色、二次元コード端末学習の掲載が特徴である。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

数学科調査研究報告書

書名 観点	104・数研出版 第1学年 数学・104-73 これからの 数学1 第2学年 数学・104-83 これからの 数学2 第3学年 数学・104-93 これからの 数学3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と式については、第3学年では、周の長さが決まっている長方形の面積と辺の長さの関係を表した方程式を立てていろいろな数を代入して調べる活動を通して、二次方程式を解く方法を考察し表現できるようにし、他者の考えをもとに数学的な見方・考え方を働かせる工夫がなされている。 ○ 図形については、第2学年では、2段重ねの工具箱のアームの取り付け方から四角形などの基本的な平面図形の性質を見出す活動を通して、三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用できるようにし、数学と日常生活との関連を感じることができるよう工夫がなされている。 ○ 関数については、第1学年では、貯金箱から取り出した硬貨の枚数と重さの関係を表、式、グラフで調べる活動を通して、比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え、考察し表現することができるようにし、対話形式により数学的な見方・考え方を働かせることができる工夫がなされている。 ○ データの活用については、第2学年では、1組と2組の体力テストのデータを四分位範囲や箱ひげ図を用いて比較する活動を通して、データの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断できるようにし、生活における諸問題に触れられるような工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、平行線と線分の比の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、三角形と線分の比を活用する方法について考え、補助線の引き方について話し合い、考えを広げ深める活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年では、図形の移動に着目し、二つの図形の関係について理解する学習の後に、基本的な作図の方法を考察し表現する問題を扱うなど、系統的・発展的に学習できるようにし、既習事項とのつながりが分かる工夫がなされている。
配慮等	○ 生徒の学習意欲を高めることについては、基礎基本の定着のための「TRY」を設けたり、「考えよう」「調べよう」では、日常生活と数学との関連や数学に関する職業について紹介するページを設けたりするという工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことについては、身のまわりにある事象から数学を見い出すことができるようにし、生徒同士の対話が示され、「学習の進め方」の記載があり、課題に取り組む際の着目点がわかるような工夫がなされている。 ○ 使用上の便宜については、UDフォント採用、文節での文章改行、識別しやすい配色、二次元コード端末学習、「学習に役立つコンテンツ」などが特徴である。
その他	※ 中学校教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

数学科調査研究報告書

書名 観点	116・日本文教出版 第1学年 数学・116-72 中学数学1 第2学年 数学・116-82 中学数学2 第3学年 数学・116-92 中学数学3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 数と式については、第3学年では、長さが20cmのモールでつくった長方形の飾りの面積の関係を表した方程式に数を代入して調べる活動を通して、二次方程式を解く方法を考察して表現できるようにし、他者の考えをもとに考えたり、他者と協力して考えたりする学習場面を取り入れる工夫がなされている。 ○ 図形については、第2学年では、上の段が下の段に平行に保たれる箱のネジの位置や棒の長さについて、図形の性質を使って考える活動を通して、三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができるようにし、学習したことを日常生活に活用できる工夫がなされている。 ○ 関数については、第1学年では、正方形の1辺の長さと周の長さの変化などの伴って変わる二つの量の関係を表、式、グラフで調べる活動を通して、比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え、考察し表現することができるようにし、日々の生活と数学の関わりを考える契機となる工夫がなされている。 ○ データの活用については、第2学年では、福岡、大阪、東京の猛暑日のデータを四分位範囲や箱ひげ図を用いて比べる活動を通して、データの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができるようにし、生活の場面と関連付けて探究していける工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3学年では、式の展開と因数分解の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、根拠を明確にするために目的に合う式の変形や、条件を変えた新しい問題をつくり、考えを広げ深める活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年では基本の作図の学習において、垂線の作図の学習の後に、これまでに学習したことから結び付けて45°の角を作図する学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるようにし、既習事項とのつながりが分かる工夫がなされている。
使用上の配慮等	○ 生徒の学習意欲を高めることについては、章の扉で疑問を抱かせ、どうすれば疑問を解消できるのかと興味を引くようなことがらの紹介や、その疑問を数学の問題として解決していく過程を丁寧に扱うなどの工夫がなされている。 ○ 主体的に学習に取り組むことについては、巻頭に「主体的に学習に取り組む態度」の具体例を明示したり、各章で、数学のよさについて考える活動や数学を生活や学習に生かす活動を適宜設けたりするという工夫がなされている。 ○ 使用上の便宜については、UDフォント全面使用、読みやすい位置での文章改行、見分けやすい配色や色以外の情報追加、二次元コード端末学習が特徴である。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	理科	小委員会
----------------	----	------

委員長

橋 本 正 之



委 員 生 田 裕 章

委 員 工 藤 雅 人

委 員 佐 藤 功 基

委 員 黒 木 一 也

委 員 山 中 高 弘

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

学校種目	中 学 校	種 目	理 科	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○ 小委員会委員長の選出 (訓子府町立訓子府中学校橋本正之校長) ○ 調査研究内容の確認 ・「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ○ 今後の調査研究日程の確認 ・第2回(7/11)までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ・第3回(7/18)までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究を持ち寄る。 ○ 調査研究等の役割分担 橋本委員(大日本図書、学校図書) 生田委員(東京書籍、啓林館) 工藤委員(啓林館、教育出版) 佐藤委員(教育出版、東京書籍) 黒木委員(学校図書、大日本図書) <第2回調査委員会> ○ 各委員からの調査結果の報告と研究協議 (1)「取扱内容」について ①第1分野について - A委員:各者とも、ユニバーサルデザインフォントの使用や端末活用に向けた二次元コードを活用し、図や絵、グラフ等が見やすく、実験に取り組みやすい工夫がなされている。 - B委員:各者とも、生徒が主体的に学ぶことができるように小学校とのつながりや単元の見通しをもたせることができるよう工夫されている。 - C委員:各者とも、生徒が意欲的に取り組めるような興味関心を引く題材を取り上げている。 ②第2分野について - D委員:各者とも、身の回りの植物、動物に対して興味を引く工夫がなされているとともに、共通点や相違点、規則性を見いだして表現する活動が位置付けられている。 - E委員:各者とも、実際に観察・体験しにくい地学分野の題材について写真やモデル、シミュレーション資料を使い、探求しやすい工夫がなされている。 - F委員:各者とも、観察のしかたや日常の例を取り上げ意欲的に取り組めるような工夫がなされている。 (2)調査研究報告書の作成について ・各自持ち寄った調査研究報告書について精査を行った。 ○ 調査研究の概要 ・各者の特徴、発展的な学習の取扱い及び北海道を取り扱っ				

	た題材の量などを検討した。 ○ 次回の調査委員会までに行うことについて ・各自、精査した調査研究報告書について修正するとともに、各者の特徴についてデータで入力し持ち寄る。 <第3回調査委員会> ○ 調査研究報告書の作成 ・精査した調査研究報告書について修正したデータの反映確認を行うとともに、調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。 ○ 調査研究の概要 ・調査報告書を基に、発表内容について話し合い、検討した。 ・想定される質問内容について話し合い、検討した。
少数意見及び参考となる事項	※特になし。

理科調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1学年 理科・002-72 新編 新しい科学1 第2学年 理科・002-82 新編 新しい科学2 第3学年 理科・002-92 新編 新しい科学3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第1分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実験などを通して、身の回りの物質や現象を理解し、見通しをもって実験などを行い、規則性を見いだして表現する。 第2学年～実験などを通して、酸化・還元反応を理解し、見通しをもって実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する。 第3学年～実験などを通して、日常生活では、様々な物質が利用されていることを理解し、科学技術の利用の在り方を科学的に考察して判断する。 ○ 第2分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～地層の観察などを通して、土地の成り立ちや広がりなどを理解し、見通しをもって観察を行い、地層の規則性を見いだして表現する。 第2学年～実験などを通して、植物の体のつくりと働きを理解するとともに、見通しをもって観察などを行い、関係性を見いだして表現する。 第3学年～実習などを通して、親の形質が子に伝わる時の規則性を理解し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現する。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～身の回りの物質について調べ、物質の見分け方について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～蒸散の仕組みについて調べ、植物が蒸散を行う利点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～プラスチックの性質について調べ、生活で削減できるプラスチック製品について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～身の回りの気体の性質についての学習後、身の回りの物質から発生する気体の学習を扱い、系統的・発展的に学習できる工夫 第2学年～モーターの仕組みについての学習後、リニアモーターをつくる学習を扱い、系統的・発展的に学習できる工夫 第3学年～太陽と星の1日の動きについての学習後、地球の公転と見える星座の関係を調べる学習を扱い、系統的・発展的に学習できる工夫 北海道にかかわり深い内容として「旭川市旭山動物園」の紹介をしている。
使用上の配慮等	○ 各節の導入において、生徒の主体性を高める問い「問題発見 レッツ スタート!」を設定したり、単元末において、学習内容と日常生活の関連を図るコラムを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に探究の流れについて説明するページを設けたり、探究の流れを見通せるよう各節の探究の流れをフローチャートで示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用や配色、デザインに配慮し、端末活用に向けて、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	4・大日本図書 第1学年 理科・702 理科の世界 1 第2学年 理科・802 理科の世界 2 第3学年 理科・902 理科の世界 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第1分野では次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実験などを通して、気体の種類による特性を理解し、見通しをもって実験などを行い、物質の規則性を見いだして表現する。 第2学年～実験などを通して、化学変化前後と質量の関係を理解し、見通しをもって実験などを行い、物質の量的な関係を見いだして表現する。 第3学年～実験などを通して、等速直線運動などを理解し、見通しをもって実験などを行い、物体の運動の規則性を見いだして表現する。 ○ 第2分野では次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実習などを通して、地震の原因を理解し、見通しをもって観察などを行い、地震の揺れや伝わり方の規則性を見いだして表現する。 第2学年～観察などを通して、雲のでき方を理解し、見通しをもって実験などを行い、天気の変化についての規則性を見いだして表現する。 第3学年～観察などを通して、天体の日周運動を理解し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～生物について調べ、生物を分類するための観点について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～気圧について調べ、吸盤を押しつけている力について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～振り子の運動について調べ、位置エネルギーと運動エネルギーの変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～光の反射の学習後、鏡に映る像の位置を調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第2学年～炭酸水素ナトリウムの熱分解の学習後、カルメ焼きをつくる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫 第3学年～微生物による分解の学習後、池の中の微生物のはたらきを調べる学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫 北海道にかかわり深い内容として「釧路湿原」の紹介をしている。
使用上の配慮等	○ 学習内容や日常生活に関係ある写真を掲載したり、章末には科学の歴史や最新の科学的知見の読み物資料を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭に学習の進め方や巻末に探究の進め方について説明するページを設けたり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用や配色、レイアウトに配慮したり、端末を活用したWEBマークを掲載したりするなど使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	11・学校図書 第1学年 理科・011-72 中学校 科学1 第2学年 理科・011-82 中学校 科学2 第3学年 理科・011-92 中学校 科学3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第1分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実験などを通して、光の屈折の規則性を理解し、見通しをもって実験などを行い、規則性を見いだして表現する。 第2学年～実験などを通して、化学変化による物質の変容や量的関係を理解し、見通しをもって実験を行い、原子や分子と関連させて表現する。 第3学年～実験などを通して、電池の基本的な仕組みを理解し、見通しをもって実験などを行い、化学変化の規則性を見いだして表現する。 ○ 第2分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～観察などを通して、花のつくりなど生物の共通点と相違点を理解し、生物を分類する観点や基準を見いだして表現する。 第2学年～実験などを通して、気温、飽和水蒸気量及び湿度との変化を関連付けて理解し、天気の変化との関係性を見いだして表現する。 第3学年～観察などを通して、親の形質が子に伝わることを理解し、生物の成長と殖え方の特徴や規則性を見いだして表現する。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～身の回りの物質について調べ、身の回りのものの分類について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～化学変化について調べ、物質の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～生物どうしのつながりについて調べ、生物がどのように殖え、成長するのかについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～物質の体積と質量の学習後、物質の浮き沈みの学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～前線通過と天気の変化の学習後、前線通過後の変化を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～作用・反作用についての学習後、作用・反作用と2力のつり合いとの違いについて扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 北海道にかかわり深い内容として「オジロワシ」の紹介をしている。
使用上の配慮等	○ 単元の導入において、学習内容や日常生活に関係のある写真を掲載したり、探究で学んだ内容を活用する場面「探究を深める 理路整然」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元での学習ごとに、科学的探究の例や考察の例を示したり、探究の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用やふりがな・多言語化に配慮し、端末活用に向けて、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1学年 理科・017-72 自然の探求 中学理科1 第2学年 理科・017-82 自然の探求 中学理科2 第3学年 理科・017-92 自然の探求 中学理科3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第1分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実験などを通して、力のはたらきと性質を理解し、見通しをもって実験などを行い、力がはたらく際の規則性を見いだして表現する。 第2学年～実験などを通して、酸化・還元反応を理解し、見通しをもって実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する。 第3学年～実験などを通して、酸・アルカリの性質を理解し、見通しをもって実験などを行い、イオンの動きを見いだして表現する。 ○ 第2分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実習などを通して、生物の体の特徴を理解し、見通しをもって実習などを行い、生物の体の共通点・相違点を見いだして表現する。 第2学年～実習などを通して、天気の変化や原因を理解し、見通しをもって実習などを行い、身近な地域の気象変化を予測して表現する。 第3学年～実験などを通して、天体の位置の変化と見え方を理解し、天体の観察などを行い、天体の特徴や規則性を見いだして表現する。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～身の回りの物質を調べ、既習事項を活用して蒸留の実験方法を話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～光合成の仕組みについて調べ、光合成の原料を調べる実験方法を話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～遺伝の規則性について調べ、メンデルが行った実験について、再現する方法を話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～マグマの性質についての学習後、火山の形や噴火の様子と関わる学習を扱い、系統的・発展的に学習できる工夫 第2学年～電流・電圧の関係についての学習後、抵抗の数や回路の種類を変化させる学習を扱い、系統的・発展的に学習できる工夫 第3学年～水深と水圧との関係についての学習後、水圧と浮力の大きさについての学習を扱い、系統的・発展的に学習できる工夫 北海道にかかわり深い内容として、「知床の生態系」の紹介をしている。
使用上の配慮等	○ 単元において、生徒が主体的に疑問を見つける活動「やってみよう」を設定したり、単元末において、学習と日常生活の関連を紹介する「ハローサイエンス」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 探求の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探求の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用や配色、デザインに配慮し、端末活用に向けて、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書、デジタル教材の発行が予定されている。

理科調査研究報告書

書名 観点	61・啓林館 第1学年 理科・061-72 未来へひろがるサイエンス1 第2学年 理科・061-82 未来へひろがるサイエンス2 第3学年 理科・061-92 未来へひろがるサイエンス3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 第1分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実験などを通して、力の大きさとばねののびの関係を理解し、見通しをもって実験などを行い、規則性や関係性を見いだして表現する。 第2学年～実験などを通して、化学変化の質量変化を理解し、見通しをもって実験などを行い、化学変化と原子の関係性を見いだして表現する。 第3学年～実験などを通して、斜面上での運動について理解し、見通しをもって実験などを行い、働く力と運動の規則性を見いだして表現する。 ○ 第2分野は次のような学習活動で目標を達成できるようになっている。 第1学年～実習などを通して、生物を比較して分類できることを理解し、生物の分類の観点や基準を見いだして表現する。 第2学年～実習などを通して、日本の天気の特徴を理解し、見通しをもって実習を行い、気象に関する規則性や関係性を見いだして表現する。 第3学年～実習などを通して、天体の見え方を理解し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現する。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～身近な生物や野菜について調べ、花のつくりについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～消費電力の規則性を調べ、日常生活での活用について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～電池の仕組みについて調べ、電池の内部の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～溶解や質量パーセント濃度について学習後、身の回りの溶液についての学習を扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～オームの法則について学習後、磁力についての学習を扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～食物連鎖などについて学習後、物質の循環についての学習を扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫 北海道にかかわり深い内容として「火山ガス（弟子屈町）」の紹介をしている。
使用上の配慮等	○ 単元の導入やまとめにおいて、生徒の興味を引き出す写真を掲載したり、日常生活や社会に関連した科学コラムを掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 探求の進め方について説明するページを参照できるようにしたり、探求の各過程を示すマークを統一したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が見やすいようユニバーサルデザインフォントの使用や端末活用に向けた二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	音 楽	小委員会
----------------	-----	------

委員長 綾 部 雅 一



委 員 河 合 健 哉

委 員 三木田 秀 明

委 員 大 平 亜紀子

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

学校種目	中 学 校	種 目	音 楽	学 年	
	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出（湧別町立上湧別中学校綾部雅一校長） ○調査研究内容の確認 ①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/11）までの方向性の確認 具体的な視点に沿って各自調査研究し調査結果を持ち寄る ・第3回（7/18）までの方向性の確認 検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る ○調査研究等の役割分担 三木田委員（教出） 大 平委員（教芸） 綾部・河合委員（教出・教芸） <第2回調査委員会> ○調査研究の概要 調査にあたっては表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するという音楽科の目標を踏まえ、表現及び鑑賞において[共通事項]や主体的・対話的で深い学びへの対応がどのような形で教材に反映されているか、調査研究を進めてきた。 <第3回調査委員会> ○調査研究報告書の作成 第2回調査研究に基づき、音楽一般および器楽合奏に関する研究協議を進め、報告書の内容をまとめた。また、協議会に向け、説明内容の確認・修正を行った。				
少数意見及び参考となる事項					

音楽科（一般）調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1学年 音楽・017-72 中学音楽1 音楽のおくりもの 第2・3学年 音楽・017-83 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 音楽（一般） 音楽・017-84 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歌唱については、斉唱から混声四部合唱までを扱い、曲想と形式の関わりを理解したり、歌詞の内容を味わい、曲の構成を理解したりしながら歌う技能を身に付け、表現を創意工夫できるようになっている。 ○ 創作については、言葉のリズムやまとまりを理解したり、言葉の反復や重ね方を生かして、まとまりのある音楽をつくる技能を身に付けたりするなど、表現を創意工夫できるようになっている。 ○ 鑑賞については、我が国や郷土の音楽、諸外国の様々な音楽について、曲の特徴と曲全体の構成の関わりを理解したり、日本とアジアの声による表現や、他の芸術と関係する音楽の役割や効果について考えたりしながら音楽のよさや美しさを味わって聴くよう扱われている。 ○ 〔共通事項〕については、音楽を形づくる要素の働きに注目して、知覚・感受したことをもとに表現したり話し合ったりする活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、音楽的な見方・考え方を働かせた表現活動ができるよう工夫されている。例えば、第1学年では、曲の特徴や山場の部分を確認し、第2・3学年では、ピアノ伴奏が変化する効果について、感じ取ったことをまとめたり、フレーズや形式を理解してブレスの取り方を工夫して歌うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、フレーズや速度の変化を生かし、合唱で表現するときの指揮の仕方について音楽の特徴と合わせて考えるなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道とかかわりのある内容は、ソーラン節や江差追分などの郷土の民謡の他、アイヌ民謡が取り扱われている。
使用上の配慮等	○ 人と社会とのつながりを生み出す取組を掲載するなど、生徒の学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ アイコンやマーク等で、学習の見通しや活動例を示したり、楽曲のよさや魅力についてまとめるコーナーを掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、1人1台端末を活用した学習活動として「まなびリンク」（二次元コード）を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

音楽科（一般）調査研究報告書

書名 観点	27・教育芸術社 第1学年 音楽・027-72 中学生の音楽 1 第2・3学年 音楽・027-83 中学生の音楽 2・3上 音楽（一般） 音楽・027-84 中学生の音楽 2・3下
取扱内容、内容の構成・排列	○ 歌唱については、斉唱から混声四部合唱までを扱い、歌詞と曲の構成との関係を理解したり、声部の関わり合いを理解したりしながら歌う技能を身に付け、表現を創意工夫できるようになっている。 ○ 創作については、音のつながり方やリズムの重なり方による特徴を理解したり表したい場面を選び、和音の動きに合わせてまとまりのある旋律をつくる技能を身に付けたりするなど、表現を創意工夫できるようになっている。 ○ 鑑賞については、我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽を通して映像の中で音楽が果たす役割や声による表現の特徴を理解したり、音楽の特徴と歌詞が表す情景や作曲者が記した標題や解説などから作品に込められた思いについて考えたりしながら音楽のよさや美しさを味わって聴くよう扱われている。 ○ 〔共通事項〕については、各教材に設定された音楽を形づくる要素を踏まえて学習したり、自分たちの表現を工夫したりする活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、知覚、感受したことをまとめたり、抑揚を意識したりしながら創作活動ができるよう工夫されている。例えば、第1学年では、イメージを表現するために音のつながり方を工夫して旋律をつくり、第2・3学年では俳句を音読しながら言葉の抑揚を生かすために工夫して旋律をつくるなど、つくった旋律について意見交換をしながら考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、リズムを選びリズムアンサンブルを創作したり地域に伝わる祭りや芸能に取り組む意義を考えたりするなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道とかかわりのある内容は、ソーラン節や江差追分などの郷土の民謡の他、アイヌ古式舞踊が取り扱われている。
使用上の配慮等	○ 各界で活躍する方の中学生に向けたメッセージや、奏者のアドバイスを紹介するなど生徒の学習意欲を高まるよう工夫がされている。 ○ 曲紹介を簡潔にまとめて具体的な活動を示したり、「問いかけ」による考えたいポイントを掲載したりするなど、主体的に学習に取り組むことができる工夫がされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり、色覚特性へ配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「学びのコンパス」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

音楽科（器楽合奏）調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1・2・3学年 器楽・017-72 中学器楽 音楽のおくりもの
取扱内容、 内容の 構成・ 排列	○ 器楽については、リコーダーや和楽器など様々な楽器を取り上げ、独奏曲や重奏、合奏曲について、曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する学習活動を取り上げ、必要な技能を身に付けたり、曲にふさわしい表現を創意工夫できるようになっている。 ○ 「共通事項」については、曲の背景を理解したり、楽器の音色や響きを生かして、全体の構成を工夫したりして演奏する活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、活動のポイントや運指図を確認できるようにしたり、動画コンテンツで模範演奏を視聴したりして演奏する活動が取り扱われている。例えば「音のスケッチ」での、平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくる活動や、「表現の仕方を調べてみよう」ではリコーダー、篠笛、尺八、各楽器の特徴を比較し、共通点や相違点について考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、様々な楽器の演奏において、一人で旋律を演奏する活動のあとに、学習した曲を重ねて演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道と関わりのある内容は、リコーダー奏者：安藤由香氏（北見市出身）が取り上げられている。
使用上の 配慮等	○ 多彩な合奏曲を掲載したり、中学生になじみのある旋律を示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 楽器の構え方などの詳細な写真を掲載したり、段階的に身に付く演奏の仕方を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ カラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

音楽科（器楽合奏）調査研究報告書

書名 観点	27・教育芸術社 第1・2・3学年 器楽・027-72 中学生の器楽
取扱内容、内容の構成・排列	○ 器楽については、リコーダーやギター、和楽器など様々な楽器の特徴を知り基本的な奏法を身に付けたり、独奏や重奏、合奏曲について、曲全体の構成を理解したり、パートの役割に合う音色や強弱を工夫して演奏する学習活動を取り上げ、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫できるようになっている。 ○ 「共通事項」については、響きと奏法との関わりや音色を考えながら楽器の組み合わせ方を工夫して演奏する学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「学びのコンパス」で考えたいポイントを例示し、曲の構成を生かした表現を工夫したり、デジタルコンテンツで学習に役立つ資料を視聴したりする学習活動が取り上げられている。例えば「マイメロディー」での、箏の音色を生かす旋律をつくる活動や「アンサンブルセミナー」での、音の重なり方の特徴を捉える学習など、考えを広げたり深めたりする活動が取り扱われている。 ○ 内容の構成・排列については、様々な楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な学習のあとに奏法の違いを生かして重奏で演奏できるようにするなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道との関わりのある内容は、打楽器奏者：石若 駿氏（清里町出身）が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 同世代の音楽活動を紹介し、中学生のインタビューを示したりするなど、生徒の学習意欲が高まるよう工夫がなされている。 ○ 考えたいポイントの提示や、吹き出しによる会話の中に具体的な学習活動のヒントを掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ ユニバーサルフォントを使用したり色覚特性への配慮をしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「学びのコンパス」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	美 術	小委員会
----------------	-----	------

委員長 吉村 由紀子



委 員 安田 利恵	委 員
委 員 栗本 佳岳	委 員
委 員 北野 浩幸	委 員
委 員	委 員
委 員	委 員

学校種目	中 学 校	種 目	美 術	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員長の選出 (大空町立東藻琴中学校 吉村由紀子教頭) ○調査研究内容の確認 「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・委員全員が各者の調査研究を行う。 ・第2回(7/11)までに、委員全員がそれぞれの調査結果を文章化しておく。当日は印刷されたものを委員全員で検討してひとつにまとめていく。 ・第3回(7/18)に、調査結果報告書を完成する。 <第2回調査委員会> ○各委員からの調査結果報告と研究協議 (1)「絵や彫刻」「デザインや工芸」について (2)「鑑賞」「内容の構成・排列」について (3)「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」について (4)「使用上の配慮等」について (5)「その他」 ○調査研究の概要の整理 ・各者の内容の特色や工夫を整理するとともに、研究調査報告書作成に向け記述内容の確認を進めた。作成した報告書の原案を提出した。 <第3回調査委員会> ○作成した調査研究報告書の確認 ・第2回において提出した報告書を再度検討し、完成に向けて進めた。 ・報告書をもとに、各者の特長や共通点、構成等を改めて協議の上確認した。 ○教科用図書採択教育委員会協議会での報告ならびに予想される質問事項についての確認を行った。				
少数意見及び参考となる事項	特になし。				

美術科調査研究報告書

書名 観点	9・開隆堂 第1学年 美術・009-72 美術1 第2・3学年 美術・009-82 美術2・3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～ 偶然に生じた形や色彩からイメージを広げて絵で表したり、対象の動きやしぐさを材料の特徴を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 ○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第2,3学年～ 伝えたり説明したりするなどの目的を絵で表したり、明かりや光の効果を生かして使う用途や空間の演出をデザインする活動を通して、独創的・創造的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第2,3学年～ 琳派のもつ造形のよさや美しさについて話し合う活動を通して、日本の美術が西洋に与えた影響などについて理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「スケッチブックから広がる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身近なものから感じ取ったよさや美しさについて交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2,3学年～ 「目にとまる 心にとまる」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい内容や伝える相手を考えた表現の工夫について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「構成の美しさ」の題材において、身近な形や色彩を組み合わせることでできた構成の美しさを紹介し、数学科との関連を写真で示すなど、教科横断的に学習することができるような工夫
使用上の配慮等	○ 巻末で、「学びの資料」（全学年）として、表現活動や制作する中で必要となる地意識や技法などを紹介したり、「持続可能な未来へ（第2・3学年）」では、ウポポイ（民族共生象徴空間）を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者デジタル教科書の発行が予定されている。

美術科調査研究報告書

書名 観点	38・光村図書 第1学年 美術・038-72 美術1 第1学年 美術・038-73 美術1資料 第2・3学年 美術・038-82 美術2・3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～ 人の表情やしぐさを見て絵や立体で表したり、木の枝や石、日用品などの形や色彩、質感を生かして表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 ○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第2,3学年～ 情報をひと目で伝えるピクトグラムのデザインを考えたり、地域の魅力を伝えるパッケージをデザインしたりする活動を通して、独創的・創造的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第2,3学年～ 日本の絵画独特の自然観や美意識、ユーモアなどについて話し合う活動を通して、日本の文化や表現の特徴などについて理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「自然の形や色を見つめて」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自然物から感じ取った形や色の美しさやおもしろさについて交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2,3学年～ 「メッセージを伝える」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、伝えたい内容やメッセージにふさわしいデザインの構成について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「暮らしをいろどる文様」の題材において、エッシャーの敷き詰め模様を紹介し、数学科との関連をコラム等で示すなど、教科横断的に学習することができるような工夫
使用上の配慮等	○ 巻末で、「学習を支える資料」（全学年）として、美術作品の鑑賞方法などを紹介したり、「北と南の民族衣装」（第2・3学年）では、アイヌ民族の伝統的な衣装を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

美術科調査研究報告書

書名 観点	116・日本文教出版 第1学年 美術・116-72 美術1 美術との出会い 第2・3学年 美術・116-83 美術2・3上 学びの実感と深まり 第2・3学年 美術・116-84 美術2・3下 学びの探究と未来
取扱内容、内容の構成・排列	○ 絵や彫刻については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1学年～ 身の回りの風景から心ひかれたものを絵で表したり、材料の形や質感を生かして何かに見立てて表したりする活動を通して、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動 ○ デザインや工芸については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第2,3学年～ 紙の性質、形や色彩、飛び出す仕組みを生かしたカードのデザインを考えたり、空間や機能、人の思いを考えて環境をデザインする活動を通して、独創的・創造的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動 ○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第2,3学年～ 浮世絵の魅力や特色及び西洋の美術作品に与えた影響について話し合う活動を通して、美術文化の継承と創造などについて理解や見方を深めたり、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさ等を味わったりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「見つめて、感じて、描いて」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、身近にあるものの形や色彩の美しさや面白さについて交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2,3学年～ 「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、中身のイメージをもとに美しさや伝達の効果について交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 「自然の美しさから生まれた」の題材において、ハチの巣のハニカム構造や美しさの黄金比を紹介し、理科や数学科との関連を写真等で示すなど、教科横断的に学習することができるような工夫
使用上の配慮等	○ 巻末で、「学びを支える資料」（全学年）として、技能の習得や題材に関連した鑑賞資料を紹介したり、「暮らしに息づくパブリックアート」（第2・3学年）では、道内の屋外彫刻を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 全ての生徒が学習しやすいよう、各題材の内容ごとに色で示したり、用具の安全な使い方や配慮すべき内容についてマークを示したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和 6年 7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	保健体育	小委員会
----------------	------	------

委員長 杉 山 英 司



委員 小野寺 理 香

委員 上 田 次 郎

委員 田 卷 司 史

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	中 学 校	種 目	保健体育	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出（小清水町立小清水中学校 杉山校長） ○調査研究内容の確認 （1）「教科書採択参考資料」を参考に「調査の観点」に基づき具体的な視点を設定した。 （2）オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。 ○調査日程の確認 （1）第2回（7/11）までに、具体的な観点に沿って、各自調査研究をし、調査結果を持ち寄る。 （2）第3回（7/18）までに第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究をし、調査結果を持ち寄る。 ○調査研究の役割分担 杉山委員（東書、大修館、大日本） 小野寺委員（大修館、大日本、学研） 上田委員（学研、東書） <第2回調査委員会> ○各委員から調査結果の報告と研究協議 （1）「取り扱い内容」について ① 保健分野についての調査研究 ② 体育分野についての調査研究 ③ 主体的・対話的で深い学びについての調査研究 ④ 内容の構成・排列についての調査研究 （2）「使用上の配慮等」についての調査研究 ○調査研究を協議し、小委員会としてまとめた。 ○次回の調査内容の確認 ・取り扱い内容 ・構成と排列、分量 ・使用上の配慮事項 <第3回調査委員会> ○調査研究報告書の確認と修正 ○採択委員会協議会に向けた準備 ・取り扱い内容 ・構成と排列、分量 ・使用上の配慮事項 ○調査研究の概要 「保健分野」、「体育分野」それぞれについて観点の項目ごとに調査研究を進めた。特に管内の課題である、体力の向上について、食育・健康教育・自然災害について協議を行った。 ○調査研究報告書の作成 調査の観点について小委員会としての調査研究の内容を記述した。				
少数意見及び参考となる事項	なし				

保健体育科調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1・2・3学年 保体・002-72 新編 新しい保健体育
取扱内容、 内容の構成・ 排列	○ 保健分野については、「心身の機能の発達と心の健康」において、性衝動や性情の学習を基に、事例の背景や問題点を話し合ったり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見つけ、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツへの関わり方について、写真や例示を基に考えたり、スポーツの文化的意義について、自分たちの生活をよりよくしている事例を基に話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツへの多様な関わり方や現代社会におけるスポーツの文化的意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 - 保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「課題の解決」で資料などにより調べた喫煙・飲酒・薬物乱用の要因などの知識を基に、適切な対処の方法について話し合い、「広げる」で社会の取組についてさらに調べるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 - 体育分野については、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに「課題の解決」で運動やスポーツの効果を資料等を基に考え、みんながスポーツを楽しむための工夫について話し合い、「広げる」で運動やスポーツの効果を日常生活でどのように役立てるかをさらに考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 - 保健分野については、小学校で学習した病気の予防や地域の保健活動について振り返る学習をした後に、感染症の発生要因や予防策、保健・医療機関の有効な利用や医薬品の正しい使用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 - 体育分野については、第1学年で運動やスポーツへの多様な関わり方をした後に、現代社会におけるスポーツの文化的意義、スポーツが果たす文化的役割を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の 配慮等	○ 巻頭に「SDGs」「テクノロジー」「情報」を切り口とした口絵を掲載したり、各章末に章の学習に関連した資料を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 日常経験や既習事項を基に考える・話し合う学習活動を位置付けたり、習得した知識・技能を活用するようにしたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習の流れが一目で分かるレイアウトにすることで学習の見通しをもてるようにしたり、全ての生徒が学習しやすいよう、配色やデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

保健体育科調査研究報告書

書名 観点	4・大日本図書 第1・2・3学年 保体・702 中学校保健体育
取扱内容、内容の構成・排列	○ 保健分野については、「心身の機能の発達と心の健康」において、中学生の時期に特に発育・発達する器官とその特徴について書き出したり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身に付けたりするなど、課題を見つけ、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツを行うことによる心身への効果について話し合ったり、国際的なスポーツ大会と国際親善や世界平和との結び付きについて考えたりする活動を通して、運動やスポーツが心身や社会性の発達におよぼす効果や、国際的なスポーツ大会の文化的な役割について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と病気の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「話し合ってみよう」で資料を参考にがんにかかりにくくするための方法を話し合い、「活用して深めよう」で身近な大人に向けたがんに対する行動のアドバイスを考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの多様性の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「話し合ってみよう」で資料を参考に運動やスポーツへの関わり方にはどのような楽しさや魅力があるかを話し合い、「活用して深めよう」で自己の今後の運動やスポーツとの関わり方について考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した思春期の体の変化等について振り返る学習をした後に、体と心の発達、ストレスへの対処の仕方を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年で運動やスポーツへの多様な関わり方を学習した後に、国際的なスポーツ大会の文化的な役割、人々を結び付けるスポーツの働きを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 巻頭に魅力のある写真や現代的なテーマの口絵を掲載したり、学習内容に関連した「トピックス」や「ミニ知識」を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 複数の資料を比べて読み取る活動を位置付けたり、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げ、深められるようにしたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 色覚の違いによって学習に支障が出ることがないように色遣いを工夫したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「WEBマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

保健体育科調査研究報告書

書名 観点	50・大修館書店 第1・2・3学年 保体・050-72 最新 中学校保健体育
取 扱 内 容 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 保健分野については、「心身の機能の発達と心の健康」において、心の働きの学習を基に脳の働きの違いについて話し合ったり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身につけたりするなど、課題を見つけ、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、運動やスポーツを安全に行うために気を付けることを確認したり、生涯にわたってスポーツに親しむことの大切さについて話し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの安全な行い方や現代生活におけるスポーツの文化的な意義について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と疾病の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「身につける・考える」で資料を基に体の各器官の発育・発達の特徴について理解し、「まとめる・振り返る」でよりよい発育・発達のために、今の生活の改善点を考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「身につける・考える」で映像資料等を基に運動やスポーツの心と体への効果について理解し、「まとめる・振り返る」で自分の体力の状態を見直し、体力を高めるための計画を立てるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した日常生活の行動が原因となる病気等について振り返る学習をした後に、生活習慣の健康への影響、喫煙・飲酒・薬物の誘惑を断る具体的な方法を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、運動やスポーツの楽しさや関わり方を学習をした後に運動やスポーツの体と心への効果、スポーツの国際大会の意義と役割を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使 用 上 の 配 慮 等	○ 巻頭の口絵で現代社会の中で、健康課題として浮上しているテーマを取り上げたり、今日的な課題をコラムや特集資料として掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 互いの考えの共有や思考を広げるための対話的な活動を位置付けたり、学習したことを基に考えを伝える・日常生活に生かす活動を位置付けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習の流れが把握しやすいようレイアウトすることで見通しがもてるようにしたり、様々な色覚の特性に対応したカラーデザインに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「web保体情報館」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

保健体育科調査研究報告書

書名 観点	224・学研 第1・2・3学年 保体・224-72 新・中学保健体育
取扱内容、内容の構成・排列	○ 保健分野については、「心身の機能の発達と心の健康」において、思春期の体の変化はどのような仕組みで起こるのかについて資料を基に考えたり、ストレスへの対処について、リラクセーションの方法を実習を通して身につけたりするなど、課題を見つけ、その解決を目指した活動を取り上げ、目標を達成することができるようになっている。 ○ 体育分野については、目標を達成することができるよう、目的や年齢、性別などの違いを超えて楽しむことができる運動やスポーツの行い方について話し合ったり、自分が安全にスポーツ活動を行うためのチェック項目を考えたりする活動を通して、スポーツの多様な楽しみ方やスポーツの安全な行い方について理解するとともに、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・保健分野については、健康な生活と病気の予防の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「エクササイズ」で飲酒開始年齢とアルコール依存症の関係性についてのグラフから、20歳未満の飲酒の害について話し合い、「学びを生かす」で実践的な場面を想定した事例における飲酒の断り方を考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ・体育分野については、スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方の学習において、学習課題を設定し、生徒に見通しをもたせるとともに、「エクササイズ」でキーワードを基にスポーツが心身や社会に及ぼす効果について調べる ・話し合う活動を行い、「学びを生かす」で自分がスポーツを日常的に行ったときの効果について考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・保健分野については、小学校で学習した体をよりよく発育・発達させるための生活等について振り返る学習をした後に、健康づくりのための運動の行い方、調和のとれた生活を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野については、第1学年でスポーツへの多様な関わり方を学習をした後に、スポーツの効果的な学び方、スポーツの文化的意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 巻頭の口絵でスポーツの魅力や価値を感じられる写真等を掲載したり、各章の扉にこれから学びたいことや学んだことを表現する欄を設けたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習した知識・技能や情報を基にした協働的な活動を通して、課題の解決を進められるようにしたり、学んだことを基にした実践的な課題を取り上げたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 配色、表現・レイアウトについて、誰もが見やすく、わかりやすい内容となるように配慮したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「教科書サイト」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	技術・家庭科	小委員会
----------------	--------	------

委員長 落 合 利 広



委員 豊 原 隆 之

委員 内 野 香 織

委員 庄 司 洋 人

委員 伊 藤 大 貴

委員

委員 棧 典 子

委員

委員

委員

委員

学校種目	中 学 校	種 目	技術・家庭科	学 年	全学年
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出（湧別町立開盛小学校 落合利広校長） ○調査研究内容の確認 ①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ②オホーツク管内としての調査研究の視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/13）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ○・第3回（7/20）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄る。 ○調査研究等の役割分担 技術科分野：豊原委員、庄司委員 （東書、教図、開隆堂） 家庭科分野：落合委員、内野委員、伊藤委員 （東書、教図、開隆堂） <第2回調査委員会> ○各委員からの調査結果の報告と研究協議 （1）「取扱内容」について（13:00～14:00） ①「学習指導要領の総則、目標、内容等」について 庄司委員：各者とも技術・家庭科の目標が達成されるよう創意工夫し、取り扱いをしている。 内野委員：各者とも実践的・体験的な学習活動を通して、履修できるよう配慮している。 豊原委員：各者ともに他教科等の関連を図り、社会において自立的に生きる基礎を培われるよう配慮している。 ②「内容の構成・排列、分量」について 庄司委員：各者とも基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、社会や環境と技術とのかかわりについて理解されるよう工夫されている。 伊藤委員：各者とも、補充的な学習及び発展的な学習など効果的にとらえることができるよう配慮されている。 落合委員：各者とも、マークや写真など豊富に掲載することで学習内容が理解され、深まるよう工夫されている。 ③「使用上の配慮等」 豊原委員：各者とも学習意欲を高めるための工夫（見開き等）を図っている。 庄司委員：各者とも主体的に学習に取り組むことができるように工夫（二次元コード、マーク等）している。 落合委員：各者とも安全、衛生的に活動できるように工夫（安全マーク等）し、学習しやすいようなレイアウト、配色等になっている。				

	＜第3回調査委員会＞ ○第2回までの検討確認、各自調査研究結果の交流。 ○採択本決定会議に向けた準備 ○調査研究の概要 【技術分野】 (1) 各内容のページ数とその割合、巻頭及び巻末のページ数及び総ページ数、重さや大きさ (2) 学習指導要領に示されている各項目が取り扱われている大題材・小題材・項目数 (3) ガイダンス的な内容など、3年間の学習の見通しをもたせることに関する箇所数 (4) 製作・実験に関する箇所数 (5) 補充的な学習・発展的な学習に関する箇所数 (6) 学習への興味・関心を高めることができるような資料や北海道の素材を活用している資料の箇所数 (7) 自ら進んで調べることができるような資料の箇所数 (8) 環境、消費、日本の伝統、防災、SDGs等の今日的な課題に関する箇所数 (9) 実習・実験の指導における安全・衛生に関する箇所数 【家庭科分野】 (1) 内容ごとのページ数及び総ページ数、重さや大きさ (2) ガイダンス的な内容など学習の見通しをもたせる内容を取り上げているページ数 (3) 製作や調理等の実習・実験を取り上げているページ数 (4) 実習・実験の指導における安全と衛生を取り上げているページ数 (5) 補充的な学習及び発展的な学習を取り上げているページ数 (6) 学習への興味・関心を高めることができるような資料のページ数や北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数 (7) 自ら進んで調べることができるような資料を取り上げているページ数 (8) 環境、消費、日本の伝統、防災、人口減少問題、SDGs等の今日的な課題を取り上げているページ数 ○調査研究報告書の作成 調査の観点について、小委員会としての調査研究の内容を記述した。
少数意見及び参考となる事項	特になし。

技術・家庭科（技術分野）調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1・2・3学年 技術分野 技術・002-72 新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
取扱内容、内容の構成・排列	○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や環境とのかかわりについて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、作物の生育環境を調整する技術に込められた工夫を調べることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、持続可能な社会の実現に向け、生物育成の技術の発展について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して、社会、環境とのかかわりについて理解したり、自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、生活や社会の中で使われている情報の技術を見つけ、まとめることを通して、情報の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、よりよい生活の実現に向けて、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を振り返り、栽培レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「技術分野の学習を始めよう」において、3学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、エネルギー変換の技術では、北海道・東北新幹線E系はやぶさを取り上げるなど北海道とのかかわりのある内容が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 課題設定をイメージできる3コマ漫画を示したり、技術の見方を深める「技術のめがね」を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、「Dマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

技術・家庭科（技術分野）調査研究報告書

書名 観点	6・教育図書 第1・2・3学年 技術分野 技術・006-73 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 技術・006-74 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
取扱内容、内容の構成・排列	○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身近な製品に関する技術の工夫について考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境問題とのかかわりについて理解したり、生活上の不便さなどの問題を解決する製品に関する実習を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、生物の成長のしくみと環境を生かす技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、生物育成の技術のプラス面やマイナス面について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、様々な発電方法に関する技術の工夫について考えることを通して、生活や環境問題とのかかわりについて理解したり、エネルギー変換の技術の最適化や燃料電池などの新しい技術について話し合うことを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、日常生活で利用している情報の技術について考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、加害者や被害者にならないための情報モラルや情報セキュリティについて話し合うことを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を振り返り、栽培レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において3学年間の見通しを立てるとともに、「材料と加工の技術『技術を見つめよう』」において、基礎的・基本的な知識を活用した実習を行い、技術の適切な評価・活用について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、生物育成の技術では、寒さに強いイネをつくる資料として、きらら397を改良した「ななつぼし」を取り上げるなど北海道とのかかわりのある内容が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 伝統文化の伝承を意識した「技ビト」を示し、技能に関する資料を別冊にするなど、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 各編の始めに、技術の発展例を取り上げる「学習の扉」を示し、各編の終わりに環境や共生などの視点で考える「社会の発展と技術」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設け、1人1台端末を活用した本文中の作業を動画などでより詳しく見ることができる、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

技術・家庭科（技術分野）調査研究報告書

書名 観点	9・開隆堂 第1・2・3学年 技術分野 技術・009-72 技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
取扱内容、内容の構成・排列	○ 技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A材料と加工の技術」において、身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、日常生活を見直して問題を見だし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「B生物育成の技術」において、季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Cエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について情報交換することを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「D情報の技術」において、生活や社会で利用されている情報の技術について考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「技術の学習を始める前に」において、3年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料を利用するための技術」において技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、生物生育の技術では、北海道が主産地であるトウモロコシなど夏野菜の農作物が実習例として数多く取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 問題解決に取り組むための4コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

技術・家庭科（家庭分野）調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1・2・3学年 家庭分野 家庭・002-72 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取扱内容、内容の構成・排列	○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングを通して、家族の気持ちや立場を考える活動や、高齢者の歩行介助を体験する活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、バランスのよい献立を考える活動や、資源や環境に配慮した着古したシャツ等を再利用、再活用したりする活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードによる買い物の仕組みについて理解を深める活動や、消費生活が社会や環境に与える影響を考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「責任ある消費者になるために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDG s を取り上げ、これまでの経験や普段の生活で重要だと思う目標を考えて話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・3 学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「私たちの生活と家族・家庭の機能」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域での協働を目指して」で中学生として地域の人々との関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A 家族・家庭生活」における幼児と家族についての学習との関連を図り、「B 衣食住の生活」では幼児のためのおやつを考えたり、「C 消費生活・環境」では家電製品の購入計画について、家族会議の前に最近の製品の機能や価格等を調べて提示し、家族で話し合ったりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 ・巻末に「防災に備える」を掲載し、自分や家族で検討すべき内容がまとめられている工夫
使用上の配慮等	○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く!」「せいかつメモ」などを掲載したり、中学生や学習案内キャラクターを登場させたりするなど生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 学習のまとめりと振り返る「まとめよう」や、学んだことを実生活につなげる「生活に生かそう」、各領域の最後に「学習のまとめ」を位置付けるなど、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 幼児が使う小物や食品の概量などの実物大写真を掲載したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1 人 1 台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

技術・家庭科（家庭分野）調査研究報告書

書名 観点	6・教育図書 第1・2・3学年 家庭分野 家庭・006-72 新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
取扱内容、内容の構成・排列	○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A 家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングで相手の立場や役割を自分に置き換えて考える活動や、地域の人や高齢者とのかかわり方を体験する活動 ・「B 衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、中学生の1日分の献立を考える活動や、ティッシュケースやクッションなどを製作する活動 ・「C 消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費者の行動が社会や環境に与える影響を考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちの消費生活」「消費者の権利と責任」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、自分や家族の消費行動が社会や環境に与える影響を話し合うなど考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「家族・家庭の基本的な働き」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「地域の人々との協働」で地域の一員としての主体的な関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A 家族・家庭生活」における幼児と家族についての学習との関連を図り、「B 衣食住の生活」では幼児のおやつを工夫したり、「C 消費生活・環境」ではエンカル消費となるように新生活に必要な家具・家電等の購入についてレポートにまとめたりするなど、身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 ・衣食住生活それぞれの領域ごとに防災学習ができるように取り上げ、危機対応能力を高めるような工夫
使用上の配慮等	○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう」「メッセージ」などを掲載したり、中学生や教師のキャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 学習のまとめりと自己評価する「ふり返る」や、学んだことを実生活につなげる「学びを生かそう」や「自立度チェック」、各領域の最後に「学習のふり返り」を位置付けるなど、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 申請時の手形や、身近な食品とその概量などの実物大写真を掲載し、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

技術・家庭科（家庭分野）調査研究報告書

書名 観点	9・開隆堂 第1・2・3学年 家庭分野 家庭・009-72 技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
取扱内容、内容の構成・排列	○ 家庭分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「A家族・家庭生活」において、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域についての課題を解決する力を養うよう、ロールプレイングで家族の役を演じ、家族とのかかわり方について考える活動や、高齢者の疑似体験をする活動 ・「B衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣食住の生活についての課題を解決する力を養うよう、栄養バランスを市販の弁当や1日分の献立作成で考えたりする活動や、資源や環境に配慮しリメイクした小物を製作する活動 ・「C消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養うよう、クレジットカードの三者間契約について理解を深める活動や、消費行動が環境に与える影響を考える活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「持続可能な社会に向けて」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、消費生活と環境にかかわるSDGsを取り上げ、自分たちがどのような取組ができるか話し合うなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・3学年間の学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「わたしの生活と家族・家庭」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「家庭生活と地域での活動」で防災マップづくりを通して家庭生活と地域との相互の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・「A家族・家庭生活」における高齢者や家族についての学習との関連を図り「B衣食住の生活」では祖父母が喜ぶ食事を考えたり「C消費生活・環境」では新しい洗濯機を購入するために、それぞれの特徴を比較しまとめたりするなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生かすことができるような工夫 ・「わたしたちの防災～防災があたりまえの生活に」を取り上げ、災害の備えを考えさせ、危機対応能力を高めるような工夫
使用上の配慮等	○ 「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生や学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 学習のまとめりに基礎・基本の定着を図る「ふり返し」や、実生活につなげる「考えてみよう」や「やってみよう」、各領域の最後に「学習のまとめ」を位置付けるなど、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 子どもの手形・足形や食品と摂取量のめやすがわかる実物大写真を掲載したりユニバーサルデザインフォントや手書き風のフォントを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	外国語	小委員会
----------------	-----	------

委員長 高倉 公 司



委員 山本 貴之

委員 宇野 貞嘉

委員 菊野 淳一

学校種目	中 学 校	種 目	外国語（英語）	学 年	
調 査 研 究 経 過		<第1回調査委員会> ○小委員会委員長の選出 遠軽町立白滝中学校長 高倉公司 ○調査研究内容の確認 ①「教科書採択参考資料」を参考に、「調査の観点例」に基づき、具体的な視点を設定した。 ②第9地区の調査研究の視点を設定した。 ○今後の調査研究日程の確認 ・第2回（7/11）までに、具体的な視点に沿って各自調査研究し調査結果を持ち寄ることを確認した。 ・第3回（7/18）までに、第2回での検討確認を踏まえ、各自調査研究し、調査結果を持ち寄ることを確認した。 ○調査研究等の役割分担 高倉委員（◎啓林館 ◎光村図書 東京書籍 教育出版） 山本委員（◎東京書籍 ◎教育出版 開隆堂 三省堂） 宇野委員（◎開隆堂 ◎三省堂 啓林館 光村図書） 菊野委員（啓林館 光村 東書 教出 開隆堂 三省堂） <第2回調査委員会> ○各委員からの調査結果報告と研究協議 （1）取扱内容、内容の構成・排列について 学習指導要領の目標の観点から協議を行った。 ・4技能（5領域）のうち、言語獲得の過程を意識した編集がなされているか。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、自分の知識を活用して、表現できるよう工夫されているか。 （2）使用上の配慮等について ・各者、小単元のまとめとして活用のある場面があるか。 ・学習の参考となる巻末教材が充実しているか。 ・ユニバーサルデザインに配慮された編集となっているか。 （3）調査研究報告書の作成について ・各委員による調査研究報告書の作成。 <第3回調査委員会> ○各委員からの調査の結果報告と研究協議 （1）取扱内容、内容の構成・排列について ・各者とも言語獲得の過程を意識した排列で、学年に応じて学習内容を発展させている。 ・内容の構成について、北海道に関わる教材が準備され、興味関心を高めさせる工夫がある。 （2）使用上の配慮等について ・各者とも既習事項を生かした活動の単元が設定されている。 ・各者とも英語学習資料やCAN-DOリスト等による達成度確認により自学が進められる工夫がなされている。 ・各者ともユニバーサルデザインに配慮されたフォントや色彩を採用している。			

	(3) その他 ・各者とも工夫を凝らしたデジタルコンテンツが準備されている。 (4) 最終的な報告様式に沿った調査研究内容の検討・確認 ・各委員作成の資料について、調査の観点に照合し、読み合わせを行った。 ・調査研究報告書の作成を完了した。
少数意見及び参考となる事項	特になし

外国語科調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1学年 英語・002-72 NEW HORIZON English Course 1 第2学年 英語・002-82 NEW HORIZON English Course 2 第3学年 英語・002-92 NEW HORIZON English Course 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるよう、第1学年では、身近な話題についてのスピーチを聞き取ったり、コマーシャルを聞き、必要な情報を聞き取ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「読むこと」については、社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるよう、第3学年では、エネルギー問題に関する説明文の概要を捉えたり、論題について意見を読み取ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるよう、第2学年では、路線図を参考に行き方を案内するやり取りをしたり、自分の好みや要望を伝えながら買い物をしたりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるよう第1学年では、小学校との接続を考慮し、友達を紹介するスピーチをしたり、思い出に残った出来事について発表したりする活動が取り上げられている。 ○ 「書くこと」については、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるよう、第3学年では、資料から読み取った情報をレポート書いたり、自分の意見と理由を組み合わせる投稿文を書いたりする活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第2学年において、単元を見通した学習課題を設定し、世界遺産を紹介する文章を書くことや、世界遺産登録について、自分の立場を明確にして議論することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年のUnit 5において、好きなこととそれ以外に知りたいことをたずね合う活動に取り組み、終末の活動で友達紹介のスピーチをする活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。また、北海道の動物保護に関する記事の読み取りを位置づけたり、札幌ラーメンを取り扱ったりしている。
使用上の配慮等	○ 「Unit Activity」では各パートで表現したことを生かして取り組むことができるゴールの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語学習のポイントを系統的に取り上げる「学び方コーナー」や、巻末に「CAN-DOリスト」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、音読練習用カラオケ機能を用いて繰り返し練習することができるようになっている。

外国語科調査研究報告書

書名 観点	9・開隆堂 第1学年 英語・009-72 Sunshine English Course 1 第2学年 英語・009-82 Sunshine English Course 2 第3学年 英語・009-92 Sunshine English Course 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるよう、第1学年では、自己紹介や友達の得意なことなどを聞き取ったり、ラジオのインタビュー音声聞いて内容を理解したりする活動が取り上げられている。 ○ 「読むこと」については、社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるよう、第3学年では、ポスターの情報を読み取ったり、プラスチックごみや人物の功績など社会的な話題について読み取ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるよう、第2学年では、誘いたい遊びやイベントについて伝え合ったり、レストランでの注文などのやり取りをしたりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるよう、第1学年では、小学校との接続を考慮し、自分が選んだ写真についてスピーチしたり、マッピングを用いて考えを整理して人物を紹介したりする活動が取り上げられている。 ○ 「書くこと」については、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるよう、第3学年では、カウンセラーになって友達の悩みの原因と解決策を書いたり、自分の学校を紹介する英文を書いたりする活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第2学年において、学習課題を設定し、地域のイベントでの出店について登場人物のアイデアを読み取ることや、自分が売りたいものについて伝え合うことなどを組み合わせる活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年の Program 6 において、好きな映画やアニメについての会話を読む活動に取り組み、終末の活動で自分が好きな登場人物について書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、北海道（知床）の自然を題材にした事柄が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 「Our Project」では、学んだ表現を使って取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 本文題材に関連した情報を取り上げる「Coffee Break」や、巻末に「CAN-DO リスト」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、AIによるスピーキング評価機能を用いて発音練習を行うことができるようになっている。

外国語科調査研究報告書

書名 観点	15・三省堂 第1学年 英語・015-72 NEW CROWN English Series 1 第2学年 英語・015-82 NEW CROWN English Series 2 第3学年 英語・015-92 NEW CROWN English Series 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるよう、第1学年では、夏休みにしたことやラジオから流れる天気予報などを聞き取ったり、映画の予告編などを聞いて、概要を聞き取ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「読むこと」については、社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるよう、第3学年では、投稿文やウェブサイトの記事などのおおまかな内容を捉えたり、物語などの概要を捉えたりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるよう、第2学年では、お気に入りの本やおすすめの場所などを即興で伝え合ったり、無人島に持って行くものなどについて話し合ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるよう、第1学年では、小学校との接続を考慮し、お気に入りの場所や店を発表したり、してみたいスポーツについて考えや意見を伝えたりする活動が取り上げられている。 ○ 「書くこと」については、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるよう、第3学年では、投稿文に対する自分の考えを書いたり、商品のCMの構成や内容を原稿に書いたりする活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第2学年において、学習課題を設定し、地球のためにどんなことをしているかたずねることや、身近な環境問題について書くことなどを組み合わせる活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年では、Lesson 7において、週末にしたことについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動でやってみたいスポーツについて発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、オリンピックで活躍したカーリングのロコ・ソラーレの題材が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 「Take Action!」では、リアルな場面や状況で、話したり、聞いたり、読んだりする活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語の学習の流れを紹介する「しくみと学び方」や、巻末に「Can-Do リスト」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすく、書きやすい書体となるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元に二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、録音・再生機能を用いて自分とネイティブの音声とを比較することができるようになっている。

外国語科調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1学年 英語・017-72 ONE WORLD English Course 1 第2学年 英語・017-82 ONE WORLD English Course 2 第3学年 英語・017-92 ONE WORLD English Course 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるよう、第1学年では、昨日したことや天気予報を聞き取ったり、留守番電話のメッセージの概要を捉えたりする活動が取り上げられている。 ○ 「読むこと」については、社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるよう、第3学年では、伝記や説明文から文章の概要を捉えたり、物語などを読んで順序を理解しながら読み取ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるよう、第2学年では、飲食店での注文や買い物のやり取りをしたり、環境問題についての対策を話し合ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるよう、第1学年では、小学校との接続を考慮し、お気に入りの人物やオリジナルの標識などについて発表したり、自己紹介などを行ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「書くこと」については、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるよう、第3学年では、魅力的な商品やサービスについてコマーシャルの原稿をまとめたり、ある議論について理由とともに自分の考えを書いたりする活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第2学年において、単元を見通した学習課題を設定し、友達と世界の国や地理クイズについてやり取りすることや、行きたい名所を魅力や理由とともに発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年のLesson 4において、好きな作家や本について紹介する活動に取り組み、終末の活動で自分の好きなものをSNSに投稿して紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。また、北海道旅行の計画作成を位置づけたり、北海道の世界遺産や自然保護を取り扱ったりしている。
使用上の配慮等	○ 「Project」では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 辞書の使い方を紹介する「辞書の使い方」や、巻末に「Can-Do自己チェックリスト」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、ネイティブ音声の再生速度調整機能を用いて文字をハイライト表示しながら聞くことができるようになっている。

外国語科調査研究報告書

書名 観点	38・光村図書 第1学年 英語・038-72 Here We Go! ENGLISH COURSE 1 第2学年 英語・038-82 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 第3学年 英語・038-92 Here We Go! ENGLISH COURSE 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるよう、第1学年では、自己紹介や夏休みにすることなどを聞き取ったり、学校紹介などを聞いて、おおまかな内容を捉えたりする活動が取り上げられている。 ○ 「読むこと」については、社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるよう、第3学年では、人物の手記や伝記からその人物の功績などをおおまかに捉えたり、投稿文や説明文などの要点を捉えたりする活動を取り上げられている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、日常的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるよう、第2学年では、企画への希望や意見などその場で伝え合ったり、必要だと思うものなどについて意見を整理して伝え合ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるよう、第1学年では、小学校との接続を考慮し、春休みの出来事を発表したり、伝えたい情報を整理して人物を紹介したりする活動が取り上げられている。 ○ 「書くこと」については、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるよう、第3学年では、説明文の要点に対する自分の考えを書いたり、読んだ手記の感想や考えをレポートに書いたりする活動が取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第2学年において、単元を見通した学習課題を設定し、友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることや、企画への希望や意見をその場で伝え合うことなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年のUnit 4において、好きなスポーツ選手やミュージシャンについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動でALTに他教科の先生を紹介する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、第2学年ではアイヌ民族の少女の読み物教材が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 「You Can Do It!」では、学んだことを生かして取り組むことができるための活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語の学習方法を紹介する「英語の学びガイド」や、巻末の「CAN-DO-List」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、人物別音声オフ機能を用いてペアやグループで役割を分けて練習することができるようになっている。

外国語科調査研究報告書

書名 観点	61・啓林館 第1学年 英語・061-72 BLUE SKY English Course 1 第2学年 英語・061-82 BLUE SKY English Course 2 第3学年 英語・061-92 BLUE SKY English Course 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 「聞くこと」については、はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができるよう、第1学年では、自己紹介を聞き取ったり、ビデオメッセージやニュースなどから必要な情報を聞き取ったりする活動が取り上げられている。 ○ 「読むこと」については、社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるよう、第3学年では、物語からおおまかな内容を捉えたり、言語についての説明文について要点を捉えたりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔やり取り〕」については、日常的话题について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるよう、第2学年では、目的地までの行き方をたずねたり説明したり、「学校の制服は必要かどうか」についてディスカッションしたりする活動が取り上げられている。 ○ 「話すこと〔発表〕」については、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるよう、第1学年では、小学校との接続を考慮し、自己紹介や大切なものについてスピーチをしたり、冬休みの思い出を発表したりする活動が取り上げられている。 ○ 「書くこと」については、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるよう、第3学年では、ALT にインタビューした内容を記事にまとめたり、地域奉仕活動に関する意見文を書いたりする活動を取り上げられている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第2学年において、単元を見通した学習課題を設定し、夏休みに行きたい場所についてやり取りすることや、好きな祭りや地域で開催されている祭りについて発表することなどを組み合わせる学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、第1学年のUnit 8において、好きな料理について読む活動に取り組み、終末の活動で行きたい場所やそこでしたいことをたずね合う活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。また、よさこいソーラン祭や北海道の自然保護に関する題材が取り上げられている。
使用上の配慮等	○ 「Project」では、学んだことを生かして取り組むことができるまとめの活動を設定するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「英語の学び方」や、巻末に「CAN-DO List」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、各単元において、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	○ 学習者用デジタル教科書では、語句をタップして聞く読み上げ機能を用いてネイティブの発音を確認することができるようになっている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用中学校教科用図書の調査研究について（報告）
さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	道 徳	小委員会
----------------	-----	------

委員長 神 田 秀 樹



委 員 江 添 正 人

委 員 金 澤 佳 慶

委 員 高 瀬 義 史

委 員 中 西 麻 人

委 員 緒 方 隆 人

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

学校種目	中 学 校	種 目	道 徳	学 年																	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会> 1 小委員会委員長の選出 網走市立呼人中学校 校長 神田 秀樹 2 調査研究内容の確認 (1) 「教科書採択参考資料」及び「管内教育推進の重点」等を参考にして、作業の概要と手順を確認した。 (2) 多様な視点で調査ができるよう、担当する教科書を複数人で担当するよう分担した。 <table><tr><th>出版社</th><th>担当者</th></tr><tr><td>東京書籍</td><td>中西 高瀬 神田</td></tr><tr><td>教育出版</td><td>金澤 江添</td></tr><tr><td>光村図書</td><td>神田 高瀬 中西</td></tr><tr><td>日本文教出版</td><td>神田 高瀬 中西</td></tr><tr><td>学研図書</td><td>高瀬 中西 神田</td></tr><tr><td>あかつき</td><td>江添 金澤</td></tr><tr><td>日本教科書</td><td>江添 金澤</td></tr></table> 3 今後の調査研究日程の確認 (1) 第2回会議までに、「教科書採択資料」を参考にして、各自で調査研究を行い、調査結果を持ち寄ることを確認した。					出版社	担当者	東京書籍	中西 高瀬 神田	教育出版	金澤 江添	光村図書	神田 高瀬 中西	日本文教出版	神田 高瀬 中西	学研図書	高瀬 中西 神田	あかつき	江添 金澤	日本教科書	江添 金澤
	出版社	担当者																			
	東京書籍	中西 高瀬 神田																			
	教育出版	金澤 江添																			
	光村図書	神田 高瀬 中西																			
	日本文教出版	神田 高瀬 中西																			
	学研図書	高瀬 中西 神田																			
	あかつき	江添 金澤																			
	日本教科書	江添 金澤																			
	<第2回調査委員会> 1 各委員からの調査結果の報告と研究協議 (1) 報告書の具体的な検討 全員で持ち寄った報告書を検討し、文言等の整理を行った。 (2) 報告書の原案作成 道教委からの資料を基に、記述視点、記述量、文末表現や体裁等を整えるよう協議し作成した。 2 今後の調査研究日程の確認 (1) 報告書の最終版を委員に配布し、最終的な確認を行うこととした。 (2) 担当以外の全ての教科書（中学2年）に目を通し、第3回調査委員会に行う最終確認に備えることとした。																				
<第3回調査委員会> 1 報告書（様式3）の最終確認 (1) 視点に沿った記述となっているかを全員で確認した。 2 教科書（中学2年）の次の観点について、全員で確認した。 (1) 「いじめ対策」「I C T」「情報モラル」「S D G s」「ふるさと教育」 3 想定質問や発表原稿についての協議																					
少数意見及び参考となる事項																					

道徳科調査研究報告書

書名 観点	2・東京書籍 第1学年 道徳・002-72 新編 新しい道徳 1 第2学年 道徳・002-82 新編 新しい道徳 2 第3学年 道徳・002-92 新編 新しい道徳 3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、目標を達成することができるよう、例えば、第1学年においては、骨髄バンクの運動などを基に、生命の連続性や有限性などを理解し、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、目標を達成することができるよう、例えば、第1学年においては、地球温暖化などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境の大切さについて考える活動を取り上げるなど、SDGs との関連を図っている。 ○ 相互理解、寛容については、例えば、第1学年「私はここにいる」において他者の立場を理解しようと努めることの難しさと大切さを取り上げるなど、多様性が尊重されるWell-beingの実現について考えられるように工夫している ○ いじめへの対策については、全学年にユニット「いじめのない世界へ」を配置し「いじめサミット」を教材化するなど、多様な教材を通して多面的・多角的にいじめ問題に向き合うことができるように工夫している。 ○ 情報モラルについては、情報化社会へ適切に対応できるよう、例えば、第3学年においては、SNSでのやりとりを扱い、友達とよい関係を築くために大切なことを、いじめと関連させて考えさせる活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第1学年「私の『ふつう』と、あなたの『ふつう』」において、写真や絵から自ら問題を見だし、グループや学級で話し合う活動を取り上げている。 ○ ふるさと教育の充実については、例えば、第1学年「住み続けられるまちづくりを」で浜中町の霧多布高校を、第3学年「『どうせ無理』という言葉に負けない」で赤平市の植松電機を取り上げるなど、地域素材を教材化している。 ○ 内容の構成・排列については、次のように工夫している。 ・言語活動については、各学年に考えたことをメモし、話し合いに活用できる「つぶやき」を配置し、生徒が多様な感じ方や考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫している。 ・問題解決的な学習については、各学年に、自ら問題を設定し解決する過程で道徳性を養う教材を配置し、主体的に判断して実行し、よりよく生きる資質・能力が養われるように工夫している。また、体験的な学習については、役割演技を行うコラムを全学年に配置するなど、体験的行為や活動を通じて道徳的価値について考えを深めるように工夫している。
使用上の配慮等	○ 写真やポスターなどの視覚的な教材や、漫画やグラフから考える教材など、多様な教材を全学年に配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫している。 ○ 写真やイラストを見て自ら問題を見だし、その問題についてグループや学級で話し合う活動を全学年において配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫している。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	17・教育出版 第1学年 道徳・017-72 中学道徳1 とびだそう未来へ 第2学年 道徳・017-82 中学道徳2 とびだそう未来へ 第3学年 道徳・017-92 中学道徳3 とびだそう未来へ
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、目標を達成することができるよう、例えば、第1学年においては、生き物の世話などを基に、生命の連続性や有限性などを理解し、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、目標を達成することができるよう、例えば、第1学年においては、富士山の環境問題などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境の大切さについて考える活動を取り上げるなど、SDGsとの関連を図っている。 ○ 相互理解、寛容については、例えば、第2学年「まるごと好きです」において、他者の個性を尊重することの大切さを取り上げるなど、多様性が尊重されるWell-beingの実現について考えられるように工夫している。 ○ いじめへの対策については、全学年にユニット「いじめをなくそう」を設定し、いじめや差別について、加害者・被害者だけでなく傍観者にも目を向けた多種多様な教材から考えを深めていくことができるように工夫している。 ○ 情報モラルについては、情報化社会へ適切に対応できるよう、例えば、第2学年においては、SNSでのトラブルを扱い、意に反した情報が広がらないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第2学年「お菓子、どうする？」において、みんなが納得できるルール作りについて話し合い、考えを広げたり、深めたりする活動を取り上げている。 ○ ふるさと教育の充実については、例えば、第3学年「もう一つの時間」において、北海道の自然を、「カムイモシリとアイヌモシリ」においてアイヌ文化を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列については、次のように工夫している。 ・言語活動については、道徳的価値について考えを深めることのできる「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫している。 ・問題解決的な学習については、様々な考えを出し合い、答えが一つではない問いを考え続ける教材を配置し、道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して問題を解決できるような教材が排列されている。また体験的活動については、役割演技などを行う活動を取り入れ、道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫している。
使用上の配慮等	○ 絵本、写真、漫画など、生徒の興味・関心を高める多様な教材や、今日的な社会課題を扱った読み物教材を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。 ○ 生徒が見通しをもって学び、自分の考えを整理したり、他の人の考えと比べたりし、「自分なりのこたえ」を導き出す活動を全学年において配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫している。 ○ 教材の解説や関連動画、外部リンクにアクセスできる二次元コードを掲載するなど、ICT機器との親和が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	38・光村図書 第1学年 道徳・038-72 中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 第2学年 道徳・038-82 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 第3学年 道徳・038-92 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、目標を達成することができるよう、例えば、第1学年においては、動物の殺処分などを基に、生命の連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命の大切さについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、目標を達成することができるよう、例えば、第3学年においては、身近な食材のタコを基に、自然の崇高さを知り自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げるなど、SDG s との関連を図っている。 ○ 相互理解、寛容については、例えば、第2学年「私の話を聞いてね」において、他者とわかり合うために大切なことは何かについて考えさせるなど、多様性が尊重されるWell-beingの実現について考えられるように工夫している。 ○ いじめへの対策については、全学年にユニット「いじめを許さない心について考える」を設け、「個性の伸長」「公正、公平」等の教材を学年の早い時期に配置するなどして、いじめの未然防止につなげられるように工夫している。 ○ 情報モラルについては、情報化社会へ適切に対応できるように、例えば、第2学年においては、中高生のネット依存を扱い、日常生活に支障をきたさないSNSの利用について考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第2学年「『尊重』の本質を探ろう」において、一人一人が尊重される社会について話し合い、考えを広げたり、深めたりする活動を取り上げている。 ○ ふるさと教育の充実については、例えば、第1学年「『ソーセージ』の悲しい最後」において、世界自然遺産である知床のヒグマのエピソードを、第2学年「アイヌの歌を歌いたい」において、アイヌ文化を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列については、次のように工夫している。 ・言語活動については、各学年に、実感を伴った学びに高める「まなびをプラス」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し表現する力などを育むことができるように工夫している。 ・問題解決的な学習については、「チャレンジ 問いを立てよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫している。また、体験的な学習については、「チャレンジ」を配置し、役割演技等を通じて道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫している。
使用上の配慮等	○ 漫画形式の教材、グラフや写真からなる教材、ケーススタディで考える教材など、全学年に多様な教材を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫している。 ○ 普段の生活の中から疑問に思った話題について、グループで対話する「今日の『てつがく』」を全学年に配置し、生徒が答えを持ち寄って考えを深めるなど、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 登場人物や題材に関する動画や関連資料、朗読音声などのコンテンツにアクセスできる二次元コードを掲載するなど、ICT機器との親和が図られている。
その他	※ 中学校教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	116・日本文教出版 第1学年 道徳・116-73 中学道徳 あすを生きる1、道徳・116-74 道徳ノート 第2学年 道徳・116-83 中学道徳 あすを生きる2、道徳・116-84 道徳ノート 第3学年 道徳・116-93 中学道徳 あすを生きる3、道徳・116-94 道徳ノート
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、目標を達成することができるよう、例えば、第3学年においては、臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性などを理解し、かけがえのない生命を尊重する大切さについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、目標を達成することができるよう、例えば、第2学年においては、緑化事業などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げるなど、SDGsとの関連を図っている。 ○ 相互理解、寛容については、例えば、第2学年「他人の靴を履いてみる」において、他者の立場を理解しようと努める難しさを取り上げるなど、多様性が尊重されるWell-beingの実現について考えられるように工夫している。 ○ いじめへの対策については、全学年にユニット「いじめと向き合う」を複数配置したり、長期休み明けの時期を狙って配置したりするなどして、いじめの未然防止につなげられるように工夫している。 ○ 情報モラルについては、情報化社会へ適切に対応できるよう、例えば、第1学年においては、SNSの投稿を扱い、自分が法を守っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第2学年「五月の風—ミカー」において、話合いの例を基に、友情について話し合い、考えを広げたり、深めたりする活動を取り上げている。 ○ ふるさと教育の充実については、例えば、第1学年「あらゆるものに神は宿っている」において、アイヌ文化を、第2学年「受け継ぐかたち・思い・地域のよさ」においてカーリングの町として北見市を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列については、次のように工夫している。 ・言語活動については、各学年に、協働的な学びの積み重ねをまとめられる「道徳ノート」を付属させ、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫している。 ・問題解決的な学習については、各学年に「学びを深めよう」のページを設け道徳的な問題に気付き、多面的・多角的に考え、主体的に判断して問題を解決できるような教材が排列されている。また、体験的な学習については、役割演技などを行う活動を取り入れるなど、体験的行為や活動を通じて道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫している。
使用上の配慮等	○ 身近な生活場面やスポーツ選手の教材、漫画形式やグラフを扱う教材など、多彩な教材を全学年に配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 道徳的価値を自分との関わりで理解し、授業で学んだことを前向きに自分に生かすための発問例「自分に+1」を全学年に配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 動画、関連資料、デジタルノートなどにアクセスする二次元コードを全教材・全コラムに掲載するなど、ICT機器との親和が図られている。
その他	※ 中学校教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	224・学研					
	第1学年	道徳・224-72	新版	中学生の道徳	明日への扉	1
	第2学年	道徳・224-82	新版	中学生の道徳	明日への扉	2
	第3学年	道徳・224-92	新版	中学生の道徳	明日への扉	3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、目標を達成することができるよう、例えば、第2学年においては、死産を経験した母親などを基に、生命の連続性や有限性などを理解し、かけがえのない生命の尊重について考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、目標を達成することができるよう、例えば、第1学年においては、特別天然記念物などを基に、自然の崇高さや、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げるなど、SDG s との関連を図っている。 ○ 相互理解、寛容については、例えば、第3学年「笛」において、異なる意見を尊重しつつも、自分自身を成長させるための行動を取り上げるなど、多様性が尊重されるWell-beingの実現について考えられるように工夫している。 ○ いじめへの対策については、全学年でユニットを設定し、生徒にとって身近なコミック教材を取り上げたり、ネット時代特有のいじめの解決方法を考えさせたりすることで多面的にいじめ防止へつなげられるように工夫している。 ○ 情報モラルについては、情報化社会へ適切に対応できるように、例えば、第3学年においては、SNSへのアップロードなどを扱い、周りの人の権利を損なわないために、大切なことについて考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第1学年「公平とは何だろう」において、差別や偏見のない社会を実現するためにできることについて話し合い、考えを広げる活動を取り上げている。 ○ ふるさと教育の充実については、例えば、第1学年「ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦」において常呂町を、第3学年「町工場から宇宙へ」において赤平市を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列については、次のように工夫している。 ・言語活動については、各学年に、考えたことをメモし、話し合いに活用できる「メモ欄」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫している。 ・問題解決的な学習については、各学年に「学びを深めよう」のページを設け道徳的な問題に気づき、多面的・多角的に考え、主体的に判断して問題を解決できるような教材が排列されている。また、体験的な学習については、役割演技などを行う活動を取り入れるなど、体験的行為や活動を通じて道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫している。					
	使用上の配慮等	○ 従来の読み物教材ではない、新感覚型の教材を充実させ、多様な観点から問題意識を喚起する教材を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫している。 ○ マンガやイラストを見て自ら道徳的問題を見だし、その問題についてグループや学級で話し合う活動を全学年に配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫している。 ○ 1人1台端末を活用した学習活動として、動画や写真、音声、ワークシートにアクセスする二次元コードを掲載するなど、ICT機器との親和が図られている。				
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。				

道徳科調査研究報告書

書名 観点	232・あかつき教育図書 第1学年 道徳・232-73 中学生の道徳1 第2学年 道徳・232-83 中学生の道徳2 第3学年 道徳・232-93 中学生の道徳3
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、目標を達成することができるよう、例えば、第3学年においては、臓器提供などを基に、生命の連続性や有限性を理解し、かけがえない生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、目標を達成することができるよう、例えば、第3学年においては、襟裳の再生などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げるなど、SDGsとの関連を図っている。 ○ 相互理解、寛容については、例えば、第1学年「言葉の向こうに」において、考え方を認め合い、学び合うために大切なことは何かを取り上げるなど、多様性が尊重されるWell-beingの実現について考えられるように工夫している。 ○ いじめへの対策については、「いじめ問題」や「共生社会」など、重要なテーマには多様な学習活動を提案する「マイ・プラス」を設け、対話を通して思考を深め、いじめの未然防止につなげられるように工夫している。 ○ 情報モラルについては、情報化社会へ適切に対応できるように、例えば、第3学年においては、SNSでのメッセージを扱い、軽はずみな行動で影響を与えないために、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第3学年「目の見えない白鳥さんとアートを見にいく」において、障がいのある人との共生について考えを広げたり、深めたりする活動を取り上げている。 ○ ふるさと教育の充実については、例えば、第2学年「ふるさとに学びを広げよう」において知床を、第3学年「襟裳のこと」において襟裳、日高山脈、知床を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列については、次のように工夫している。 ・言語活動については、教材を読んで考えるための視点を提示した吹き出しの「発問」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め判断し、表現する力などを育むことができるように工夫している。 ・問題解決的な学習については、生徒が色々な立場で想像したり考えたりできるような問い「マイ・プラス」を配置し、道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫している。また、体験的な学習については、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫している。
使用上の配慮等	○ 学期ごと及び1年間の自分自身の授業の取組を振り返る、切り取り式ワークシート「学習の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。 ○ 教材の学習後にさらに学びを広げることができるよう、Thinking（コラム）や巻末付録を全学年に配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫をしている。 ○ 動画や写真、参考となる外部ページなどにアクセスできる二次元コードが各教材に配置されるなど、ICT機器との親和が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

道徳科調査研究報告書

書名 観点	233・日本教科書 第1学年 道徳・233-72 道徳 中学校1 生き方から学ぶ 第2学年 道徳・233-82 道徳 中学校2 生き方を見つめる 第3学年 道徳・233-92 道徳 中学校3 生き方を創造する
取扱内容、内容の構成・排列	○ 生命の尊さについては、目標を達成することができるよう、例えば、第3学年においては、骨髄移植などを基に、生命の連続性や有限性を理解し、かけがえない生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。 ○ 自然愛護については、目標を達成することができるよう、例えば、第3学年においては、白神の森などを基に、自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げるなど、SDGsとの関連を図っている。 ○ 相互理解、寛容については、例えば、第3学年「外見で決めないで」において、私達の周りにある「小さな差別」を取り上げるなど、多様性が尊重されるWell-beingの実現について考えられるように工夫している。 ○ いじめへの対策については、「いじめ」につながるシーンを多教材で採用し直接的・間接的な形で「いじめ」を取り巻くテーマを扱うなど、いじめの未然防止につなげられるように工夫している。 ○ 情報モラルについては、情報化社会へ適切に対応できるように、例えば、第3学年においては、SNSでの誹謗中傷を扱い、SNSと上手に付き合っていくためには、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、例えば第3学年「彼と私のありがとう」において、よりよい関係を築く時に大切にすべきことについて話し合うなど、考えを広げ、深める活動を取り上げている。 ○ ふるさと教育の充実については、例えば、第2学年「心を育んだ遠友夜学校」において札幌農学校を、第3学年「加藤セチと佐藤昌介」において北星女学校を取り上げている。 ○ 内容の構成・排列については、次のように工夫している。 ・言語活動については、各学年に、対話しやすい環境をつくる「ウェルビーイングカード」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫している。 ・問題解決的な学習については、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫して配置し、道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断して問題を解決できるような教材が排列されている。また、体験的な学習については、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫している。
使用上の配慮等	○ 学びの目標と目的意識をもって授業に向かうための「クラスのみんと『道徳授業』を創り出そう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。 ○ 各教材の発問「深めよう」（全学年）において、自らのこれからの在り方を考える場面を配置し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫している。 ○ 登場人物や出来事について、より知識を深めるための写真や年表、プロフィールにアクセスできる二次元コードを掲載し、ICT機器との親和が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

調査研究報告書

第9地区教科用図書採択教育委員会協議会長 様

令和7年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の
調査研究について（報告）

さきに依頼のありましたこのことについて、別添のとおり報告します。

令和6年7月18日

第9地区教科用図書調査委員会	特別支援	小委員会
----------------	------	------

委員長 岸 澄美子



委員 中坪 利実

委員 石田 篤司

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

学校種目	中学校	種 目	特別支援	学 年	
調 査 研 究 経 過	<第1回調査委員会>7月4日(木) 1 小委員会委員長の選出(置戸町立置戸中学校長 岸澄美子) 2 調査研修内容の確認 (1)「教科書採択参考資料」を参考に、作業の概要と手順を確認した。 (2)担当する図書を分担した。 ・くらしに役立つソーシャルスキル~よりよく暮らす・働く・楽しむ…岸 ・いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳…中坪 ・いちばんわかりやすい小学生のための学習世界地図帳…中坪 ・改訂新版 くらしに役立つ社会…岸 ・さわる絵本ちびまるのぼうけん…岸 ・初級編ステップアップ マッチングI…岸 ・どんどんめくってはっけん!からだのふしぎ…中坪 ・でんじろう先生の学校の理科がぐんぐんわかるおもしろ実験…中坪 3 今後の調査研究日程の確認 (1)第2回までに「教科書採択資料」を参考に、各自調査研究し調査結果を持ち寄ることにした。 <第2回調査委員会>7月11日(木) 1 調査した結果について研究協議 (1)必要な情報の置き換えや追加について協議 (2)教科書採択参考資料を用いて協議 2 調査研究報告書素案打ち込み 3 教科用図書採択委員会協議会 報告読み原稿作成 <第3回調査委員会>7月18日(木) 1 報告読み原稿の確認 2 想定される質問に関する協議 3 調査研究報告書の最終確認と完成				
少数意見及び参考となる事項	特になし				

書名	発行者		取扱い内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名					
	価格					
教科名	社名		社会			
くらしに役立つソーシャルスキル 一よりよく暮らす・働く・楽しむー	東洋館		「自分のこと」「相手のこと」「将来のこと」をテーマに、自分と社会との関連を考えながら知識及び技能の習得が図られるよう構成されている。 多くの項目で自己や他者の考えを記述する欄が設けられており、主体的・対話的に学習できるよう配慮されている。 文章での説明を基本に、必要に応じてイラストを活用して子どもが分かりやすく学べるよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.8×18.6cmで、ページ数は170ページである。 表紙はビニール装丁で、堅うである。 令和3年（2021年）発行
	石塚 謙二ほか					
	1, 500					
いちばんわかりやすい小学生のための学習日本地図帳	成美堂出版		各地方の地形や自然、観光や産業、代表的な文化等について、調べたり、まとめたりして活用できるよう構成されている。 日本の農業、水産業、工業と貿易などについてのデータを日本地図を使って分かりやすく表すなど、配慮されている。 調べ学習に活用することができ、漢字には全て振り仮名が付けられているなど、工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.6×18.1cmで、ページ数は80ページである。 装丁は丈夫で、表紙は厚手でビニール加工されている。 令和5年(2023年)発行
	深見 公子					
	1, 300					
いちばんわかりやすい小学生のための学習世界地図帳	成美堂出版		各地域の地形や自然、人々や文化、産業の特徴等について、調べたり、まとめたりして活用できるよう構成されている。 世界の農業・林業・漁業、工業と環境問題などについてのデータを世界地図を使って分かりやすく表すなど、配慮されている。 調べ学習に活用することができ、漢字には全て振り仮名が付けられているなど、工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は25.6×18.1cmで、ページ数は80ページである。 装丁は丈夫で、表紙は厚手でビニール加工されている。 令和5年(2023年)発行
	深見 公子					
	1, 300					

書名	発行者			取扱い内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考			
	著者名									
	価格									
教科名	教科名			社会						
	改訂新版 くらしに役立つ社会	東洋館						視聴知肢病	C	体裁は25.7×18.2cmで、ページ数は154ページである。 表紙はビニール装丁である。 ワークシートや動画を視聴できる二次元コードが掲載されている。 令和6年（2024年）発行
		明宮 茂 ほか								
		1, 500								
教科名	教科名			算数・数学						
	さわる絵本 ちびまるのぼうけん	偕成社						視聴知肢病	A	体裁は23.0×22.0cmで、ページ数は24ページである。 表紙の装丁は堅ろうである。 点字が併載されている。 昭和56年（1981年）発行
		フリリッブ・スート								
		2, 900								
初級編ステップアップ マッチングⅠ	こばと教材出版社			視聴知肢病	A	体裁は29.7×21.0cmで、ページ数は42ページである。 表紙はビニール装丁で、ワークシートを一枚ずつ剥がしな がら使用できる。 平成29年（2017年）発行				
	遠藤 敏子									
	1, 800									

書名	発行者			取扱い内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名						
	価 格						
教科名	教科名			理 科			
	学研出版社						
	ロウイー・ストーリー ウェル 1, 8 0 0						
どんどんめくってぱっ けん! からだのふしぎ				分かりやすいイラストと簡潔な説明で、筋肉や骨などの体の仕組みや働きについて学べるよう構成されている。体の部位に付けられたしかけをめくると、イラストと詳細な説明が書かれており、楽しみながら学べるよう配慮されている。 イラストは分かりやすく、文字は平仮名で重要な語句が太字になっており、分かりやすく学べるよう工夫されている。	視 聴 知 肢 病	C	体裁は22.3×20.0cmで、ページ数は14ページである。 表紙は厚く堅ろうで、各ページも厚紙で作られている。 平成25年(2013年)発行
でんじろう先生の学校の理科がぐんぐんわかるおもしろ実験	主婦と生活社			写真や絵を主体に、簡単なコメントの解説により、楽しく学習を進めることができるよう構成されている。 身近なものを活用することで、実験に取り組みやすいよう工夫されており、理科の内容がバランスよく取り上げられている。 用語は簡単で、漢字には振り仮名が振られており、工夫されている。	視 聴 知 肢 病	C	体裁は25.7cm×18.4cmで、ページ数は130ページである。 表紙の装丁は堅ろうである。 平成27年(2015年)発行
	米村でんじろう						
	1, 3 8 0						

発達の段階

- A 話し言葉はもたないが、物事への興味や関心が出始め、簡単な物の弁別が可能な段階にあるもの
- B 話し言葉をもち、文字の読み書きに興味をもち始め、物事の簡単な因果関係が分かる段階にあるもの
- C 簡単な読み書きは可能であるが、学年相応の文部科学省検定教科書や文部科学省著作教科書では学習が困難な段階にあるもの